

学士会創立 130周年

NU7

National University Seven

国立七大学の総合同窓誌

2016.07 No.6

学士会館開館 88周年

講演録：生まれ変わった動物園

講演録：日本近代のあゆみと〈立憲政治〉

七大学・同窓会・会員活動情報

学士会



学士会は本年、創立130周年を迎えました

学士会は、1886年に創立して以来、本年130周年を迎えました。

5月20日の午餐会は、130周年記念として、久保正彰理事長による記念講演「プロメテウスは解放されてよかったのか」を開催しました。

当日は学士会館開館88周年の記念日ということもあり、午餐のメニューには、学士会館にかつてあった地階食堂の人気メニュー「帆立の海老巻」を現代風にアレンジした料理が金の食器で提供され、記念講演に彩りを添えました。

講演録は、11月1日発行の『學士會會報』(921号)に掲載予定です。





お世話になっている取引先の皆様を
招いて感謝の集いを開催！



88周年記念として、野菜の
クッキー&マドレーヌを販売中！



学士会館は本年5月20日に開館88周年を迎えました

学士会館精養軒では、ただいま、88周年キャンペーンを展開しています。



学士会館の「G」の
刻印入り！



晩餐会、婚礼でお馴染みの
「金のカトラリーセット」を特別価格で販売中！



様々な企画イベントを
展開していきます！

88周年記念に関する情報は
学士会館 Web サイトをご覧ください。
<http://www.gakushikaikan.co.jp/>

学士会創立 130 周年 学士会館開館 88 周年

01

2016.07 NO.6

7 LECTURE 関西茶話会

生まれ変わった動物園

03

—京都市動物園での研究と教育—

田中正之（京都市動物園生き物・学び・研究センターセンター長）

東北講演会

日本近代のあゆみと<立憲政治>

09

—その中で大学がしたこと、できなかったこと—

樋口陽一（東北大学名誉教授・東京大学名誉教授・日本学士院会員・学士会代議員）

7 UNIV.

七大学情報

16

七大学書籍ランキング 44

7 ALUMNI

同窓会案内・開催報告

28

7 MEMBERS

会員通信

34

会員著作物紹介
会員活動報告
原稿・作品募集のご案内

7 NEWS

学士会・学士会館より

38

7 STAFFs

編集委員コラム

46

JOIN US!

学士会の紹介

表 4



表紙写真…福田真人会員

東大・学術博・京大・工・昭51

第23回

関西茶話会

開催日 2016年2月13日(土)

会場 中央電気倶楽部(大阪市)

生まれ変わった動物園

—京都市動物園での研究と教育—

たなか まさゆき
田中 正之

京都市動物園生き物・学び・研究センターセンター長



● PROFILE ●

1991年大阪大学人間科学部卒業、'93年京都大学大学院理学研究科修士課程修了、'95年博士後期課程中退、理学博士。

同年より財団法人東京都老人総合研究所言語・認知部門研究助手、'97年京都大学霊長類研究所思考言語分野助手、2008年京都大学野生動物研究センター准教授。2013年より京都市動物園生き物・学び・研究センターセンター長、京都大学野生動物研究センター特任教授。現在に至る。

著書に『生まれ変わる動物園—その新しい役割と楽しみ方—』(化学同人、2013年)、『Cognitive development in chimpanzees』(松沢哲郎・友永雅己との共編著・Springer、2006年)翻訳に『動物園動物管理学』(村田浩一・楠田哲士監訳、文永堂、2014年)など

大学から動物園の研究施設へ

私がサル学を知るようになったのは、大阪大学人間科学部で在籍した研究室で飼育していたサルの世話を始めたことがきっかけでした。

「サルを知るとは人間を知ること」であると知り、サル学のパイオニアである今西錦司先生、伊谷純一郎先生、河合雅雄先生らの著書を読み漁るうち、サル学の総本山である霊長類研究所に憧れ、京都大学大学院理

学研究科霊長類学専攻(当時;現在は生物科学専攻)に進学しました。チンパンジー研究で有名な松沢哲郎先生の下で研究に没頭し、霊長類研究所の助手を経て、2008年、新設の京都大学野生動物研究センターに着任しました。

この年、京都市と京都大学が京都市動物園と野生動物研究センターが中心となり、「野生動物の保全に関する

研究と教育についての連携協定」が結ばれ、私は大学教員の身分のまま、京都市動物園に通うようになりました。

この間に動物園の魅力や、社会に果すべき役割を知り、動物園にのめり込んでいきました。そして2013年、京都市動物園に「生き物・学び・研究センター」が新設されるのを機に大学を辞め、同センター長に就任しました。



動物園の4つの役割

現代の動物園の役割は、第一に「種の保全」にあります。野生動物の成育環境が狭まっていく中、動物園で飼育されている種はほぼ全て、野生では絶滅の危機に瀕していると言えます。動物園はそうした絶滅危惧種の飼育下での繁殖と保全を請け負うセンターです。

次に、「教育・環境教育」です。本来なら遠いアフリカや北極に行かなければ見られない動物が、動物園では間近に観察できます。それらが絶滅の危機に瀕していると知れば、

環境を考えるきっかけになります。

3つ目は、「調査・研究」です。野生動物を適切に飼育し、繁殖させるには、より多く正しく知る必要があります。しかし、野生動物の生態は殆ど解明されていないのです。

最後に、「レクリエーション」です。動物園は市民の皆さんに楽しんでもらうレジャー施設です。

残念ながら日本ではあまり認知されていませんが、以上の4つの役割は、公益社団法人日本動物園水族館協会が提示しています。

京都市動物園の歩み

日本で最も古い動物園は、1882(明治15)年に国立博物館の附属施設として開園した上野動物園です。後に、東京市に下賜されたので、恩賜上野動物園という名称になりました。

次に古いのが、京都市動物園です。1903(明治36)年、大正天皇のご成婚を記念して、多くを市民の寄付によって誕生した、市立の動物園です。

当園は開園当初より大賑わいでし

たが、設立後百年を経て老朽化が著しくなると、「多くの方がもっと気軽に立ち寄れる、新しい都市型動物園にしたいⁱ」という要望が高まりました。そこで市民の皆さんと構想を練り、「近くて楽しい動物園」というコンセプトの下、2009年から全面改修を始め、2015年秋、グランドオープンしました。

現在のところ、予想を上回る大勢

のお客様が来園しています。例年、1～2月は来園者が最も少ない時期ですが、2016年は毎日何千人もの方に来ていただいています。天気が良く暖かい日などは、1万人以上もの来園者を迎えています。

i 詳しくは、『生まれ変わる動物園～その新しい役割と楽しみ方』（田中正之著 2013、化学同人）を参照のこと。

生まれ変わった京都市動物園

リニューアル後は、動物園に気軽に立ち寄ってもらえるよう、「正面エントランス」の1～2階の大半を無料開放しました。1階の一番良い場所にある図書館カフェでは、コーヒーを飲みながら自由に読書できます。レストランは業者に委託したのですが、旬の野菜と無添加にこだわりの料理が来園者に好評です。

動物の展示の仕方も工夫しました。「京都の森」というゾーンでは、里山をイメージして主に京都に生息する動物を展示しています。野生で傷つき、救護された後、野生復帰できなかった希少動物も生息しています。例えば羽を骨折した鳥は、通常、二度と飛べないので野生に戻れません。そうした希少動物を終生飼育し、展示することも園の役割と考えています。

この「京都の森」には、琵琶湖疏水から水を引いた棚田があり、田植

から収穫までを体験学習できます。将来はここにホタルを定着させたいので、ホタルの餌になる貝を放流し、育てています。このゾーンで身近な環境に触れ、「何を守っていかねばいけないか」を考えるきっかけになればと願っています。

「ゾウの森」というゾーンには、4頭の子ゾウ（オス1頭、メス3頭）がいますⁱⁱ。動物園にいるゾウというと、「1～2頭がぼつんといて、じっとしているか、ゆっくり歩いている」というイメージですが、当園



の4頭は常に組んずほぐれつして遊び、片時もじっとしていません。しかもほぼ毎日プールに入ります。真冬の水温4度の水にも平気で入るので、飼育員も驚いています。昨秋、園内でかき集めた落ち葉をゾウのグラウンドにまいたところ、転げ回って遊んでいました(写真1)。



写真1

- ii 他に、メスのアジアゾウ(推定45歳)もいる。

ラオスからのゾウの導入

改修前、「ゾウの飼育下繁殖に取り組むため、複数頭のゾウを持ちたい」という目標を立てました。しかし、どのようにゾウを入手するかが問題でした。

ワシントン条約では、野生動物の取引が厳しく規制されています。本来、同条約のゾウに関する部分は象牙取引の規制を目的としていました。しかし、密猟などで野生のゾウの数が激減した今や、ゾウの輸入はきわめて困難になっています。

ゾウが生息する国々もゾウが観光資源であることに気づき、「ゾウを見たければ、我が国へいらっしやい」「レンタルなら交渉に応じます」と主張し始めました。日本の動物園はパンダの展示のために中国に高額のレンタル料を払っていますが、ゾウもそうなりつつあります。

一方、他の動物園で誕生したゾウ

を分けてもらうことも、繁殖実績がまだ乏しい現在では困難です。

当園がこのようにゾウの入手で困っていた頃、京都市とラオスの間に様々な縁ができましたⁱⁱⁱ。そこで、当園は交渉をラオスに一本化しました。幸い、「日本とラオスの外交関係樹立60周年」(2015年)というところで、在ラオス日本大使館の全面支援を受けることができ、また安倍首相もラオス訪問時に口添えしてくださいました。その結果、2013年、「ゾウの繁殖のための研究協力をする」という覚書が交わされ、ラオスから当園に4頭の子ゾウが寄贈されたのです。

- iii 2010年、京都にラオス人民共和国名誉領事館開設、2011年、関西ラオス友好協会発足、2012年、ラオス大使が京都市市長を表敬訪問、2013年、安倍総理もラオスを訪問した。

ゾウの繁殖プロジェクト

「ゾウの繁殖プロジェクト」は、10年にわたる計画です。この計画に対し、京都信用金庫が総額1億円を寄付してくださることになりました。ただし、そのうち5千万円はゾウを運搬するための飛行機代などにかかってしまいましたので、残り5千万円でゾウの調査や人材交流を行う予定です。

人材交流では、ラオスの野生動物資源の管理に関わる方々を日本に招き、日本でのゾウの飼育環境や獣医学的な管理方法を見てもらいます。

例えば、育ち盛りの子ゾウの観察記録です。体重測定は3カ月に一度実施しています。一番重たい子ゾウが2005 kg、一番軽い子ゾウでも1110 kgです。研究の一例としてゾウの消化試験のお話をします。ゾウの糞を分析すれば、どの栄養素がど

の位の量、吸収されたか分かります。食事に含まれる栄養素の量と比較すれば、ゾウの消化機能と栄養吸収が判明します^{iv}。当園でもゾウの食事の適量は分かっていたのですが、ゾウに必要な栄養素の厳密な量は分かっていませんでした。今までは馬^vを参考にゾウの猷立を考えてきましたが、今後、ゾウの健康管理は大きく改善するでしょう。

また、京都市動物園のゾウの繁殖プロジェクト関係者もラオスを訪問するなどして交流を深め、今後、現地のゾウの保全活動に関わっていきたいと思います。

iv 岐阜大学応用生物科学部動物栄養学研究室八代田真人准教授との共同研究。

v 馬はゾウに一番近い大動物であり、ゾウと同じく食べ物を盲腸で発酵させ、栄養素を分解して吸収しているから。

より良い研究と展示を目指して

動物園には、動物を魅力的に飼育する責務があります。一方、動物園は研究所ではないので、多くの“やっていけないこと”が存在します。そこで当園では制約を守りつつ、研究成果を展示に生かしています。サルの場合を紹介します。

私が勤務していた霊長類研究



所では、現在もチンパンジーの知性を調べる様々な研究がおこなわれています。タッチパネルを使ったチンパンジーの数字の認識の研究もそのひとつ。その研究を動物園でも行っています。タッチパネルに「1」「2」…という数字が表示され、チンパンジーは小さい順に押ししていきます。正解が定着してきたら、「3」「4」…と1つずつ数字を増やしていきます（写真2）。

当園ではチンパンジー以外にもマンドリル、シロテテナガザル、ニシゴリラに対して行い、その学習の様子を展示しています。チンパンジーは現在、数字を「13」まで覚えましたが、他の参加者たちも数字をよく覚えています。

彼らの様子を観察していると、サルも人間と同じく、同じ姿勢をした仲間がすることに興味を持ち、真似したがることに気づきます。



写真2

サルが勉強する様子を展示する意図は、「サルの知性の展示」にあります。しかし、「動物を見世物にしている」と言われる可能性もあるので、きちんと反論できるロジックを常に考えています。

当園では他の動物の行動観察も行い、研究し、常に新しい企画を考えています。そうすることが、動物の適切な飼育管理につながりますし、その結果として生き活きた動物を見ていただくことで、来園者が動物の魅力を知り、リピーターになってもらえると期待しています。

2013年、京都大学は「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」を発足させました。絶滅危惧種保全のために国際的に活躍する専門家や、高い研究能力を持つ動物園キュレーターを養成しようとしています。

先述の通り、殆どの野生動物の生態は研究が始まったばかりです。動物園はまだ活用されていない貴重な素材の宝庫です。研究者として優れた業績を挙げつつ、それを来園者に平易な言葉で伝えられる人材、動物園ならではの魅力ある発信ができる人材を育てていきたいと思っています。

東北講演会

開催日：2016年2月14日（日）

会場：東北大学片平キャンパス
片平さくらホール

日本近代のあゆみと〈立憲政治〉

—その中で大学がしたこと、できなかったこと—

東北大学名誉教授・東京大学名誉教授・日本学士院会員・学会代議員 ひぐち よういち
樋口 陽一

「立憲政治」と「大学」

まず、本日の講演タイトルの二つの言葉について、お話します。「立憲政治」という言葉は、幕末から帝国憲法制定にかけて既に、政府高官にとっても在野の運動家にとっても、キャッチフレーズでした。彼らは「立憲政治こそ近代国家の証」と信じていました。

例えば、国憲起草の詔勅の2年後、1878（明治11）年に元老院が出した復命書には、ロシアを除き「開明旺盛」の国は「皆立憲ノ政ヲ用ユ」と述べています。日本はこの後、憲法制定と議会開設を実現しますが、日露戦争のときロシアはどちらも実現できていませんでした。イギリスが日英同盟を通じて日本を支援した背景には、権力外交からの判断に加えて「ロシアと違い、日本は立憲政治を行う近代国家だ」という大義名分があったのです。

もう一つ、「大学がしたこと、で

きなかったこと」の、「大学」という言葉ですが、これは特定の大学でもなければ、一般論として日本の大学制度のことを話すのでもなく、「大学人」という意味で使っています。

戦前ですから「ある程度の」というべきでしょうし、もちろん戦後でも無制限ではありませんが、大学は、あえて言えば大学の自治という特権のもと、その枠の中での自由を享受する者の権利と社会に対する義務を課されています。そういう大学人という意味です。50年前、私はアルジェリア独立に揺れるフランスに留学していました。ある時、大学の集会で憲法学の教授が演説をしました。ずっと後に私主催の行事にご夫婦で出て頂く間柄になった Vedel 教授のことですが、「フランスの大学は決断しなくてはならぬ」という彼の結語が印象的でした。「大学人は責務を果たそう」と語ったのです。

政府高官による憲法論争

1888（明治21）年、憲法草案の審議の席上、伊藤博文と森有礼が論争をしました。当時、伊藤は初代枢密院議長、森は文部大臣でした。

論争の発端は、森の「“臣民の権利義務”を“臣民の間際”に修正せよ」という発言でした。頑迷陋固に聞こえますが、森は翌年2月11日、帝国憲法発布日に国粋主義者に暗殺されてしまう程、西洋かぶれで急進的な欧化主義者と見られていた人です。

森の発言に対し、伊藤は「憲法創設の精神は、君権の制限と臣民の権利の保護にある」と反論します。伊藤の主張は「君権」だけでなく、国民主権にも当てはまります。ヒトラーのような独裁者が民主的選挙で選ばれる例もあるからです。長州閥の大幹部で、民主主義者でも自由主義者でもない伊藤が、憲法学の模範解答のような発言をしたことに驚きます。

森は「臣民の権利は臣民が天然所持するもの。憲法で初めて生じるのではない」と再反論しました。森の一連の発言は天賦人権論に依っていたのです。今の政治家たちに聴かせねばならぬほど、高度な憲法論争がなされていたのです。

在野でも私擬憲法の作成が流行

憲法発布前、論壇などの著名人だけでなく、当時は無名の草の根の農

民たちも含め、在野でも活発に私擬憲法が作られました。

その中でも東北は、言論によって政府と闘う自由民権運動が盛んでした。戊辰戦争は会津藩を中心とする東北の諸藩と、薩摩と長州を中心とする新政府軍との対立でした。そういう激動の中で、こういう憲法論議が、草の根にまで広がっていたのです。

1960年代に旧制二高出身の歴史家、色川大吉氏（東京経済大学名誉教授）によって発見された五日市憲法は、旧仙台藩下級武士であった千葉卓三郎が奥多摩の山村で農民たちと立憲政治実現のために継続的な勉強会を続け、起草した私擬憲法です。身分にかかわらず、多くの市民が真剣に立憲政治を目指していたことが伺い知れます。

「自由や自由や我汝と死せん」という言葉を残した現・福島県浪江町出身のかりやどなかえ菟宿仲衛は、激しい弾圧の中の運動に身を投じ、仲間たちと憲法の中身についての議論を書き留めたものを遺してしています。現・岩手県久慈市出身の小田為綱は、中江兆民などの著名人たちが発表している案に対する賛否の論評を書き止めています。

中江兆民は『三酔人経綸問答』の中で、「民権には二種類ある。人民自ら勝ち取った回復的民権と、統治者から与えられた恩賜的民権だ。発布される憲法は到底回復的民権では

なさそうだが、人民がそれを守り、回復的民権と肩を並べるまで育てればよい」と述べています。

帝国憲法発布後、国民に、その努力が課せられたと言えます。そのプロセスの中で、憲法発布の1889年以降、制度の役割が大学人に引き継がれることとなります。つまり、どんな立憲政治を目指すのか、結局は恩賜的民権を書き記した憲法になったけれども、それをどうやって回復的民権へと実質化していくのか。もちろん大学人だけではありませんが、どのような努力によって、憲法を動かすのか、ということです。

帝国憲法の二つの側面

帝国憲法には、日本的要素と西洋的要素があります。日本的要素は、「^{こうもん}告文」に見られます。日本国憲法の前文に相当する部分で、明治天皇が祝詞風の言葉で、「憲法を作成し、日本を立憲国家にする」と皇祖皇宗に誓う内容です。「告文」に続く「憲法発布勅語」においても、日本的要素が強調されています。

一方、西洋的要素は、帝国憲法の条文全体に見られます。例えば、第三条「天皇ハ神聖ニシテ侵カスヘカラス」は、法律家以外には「天皇を現人神と規定している」と誤解されますが、「天皇は裁判の対

象にならない」という意味です。フランス革命の1791年憲法は国民主権を宣言した上で君主を「不可侵で神聖」としていました。帝国憲法は当時の西洋諸国の水準から大きく外れるものではありませんでした。

なぜなら、江戸幕府弱体化の際に締結された、領事裁判権の認可・関税自主権の放棄という端的な不平等条約の是正が、明治の指導者たちの火急の任務でした。そのためにも憲法を制定して立憲君主制を確立し、議会制を導入しました。司法権も独立させ、江戸時代の奉行所のようなお白洲裁判ではなく、永続的な独立した裁判官が判断する裁判所を設置しました。西洋と肩を並べられるようにならなくては、前に進めなかったのです。

明治から大正へ～天皇機関説論争

東京帝国大学で最初に憲法講座を担当したのは、穂積八束（1860～1912）です。彼の憲法論は日本的



講演の様子

要素を強調しました。穂積から憲法講座のみならず、考え方も引き継いだのが、上杉慎吉（1878～1929）です。

一方、西欧的要素を強調したのが、美濃部達吉（1873～1948）です。彼は法制史講座の担当からスタートし、のちに上杉と並んで憲法講座につくのですが、1912（明治45＝大正元）年、美濃部が『憲法講話』を出版すると、上杉は「国体に関する異説」と批判しました。美濃部も再反論するうち、学界や出版界を巻き込んだ大論争（天皇機関説論争）に発展しました。

国家を法律上、一つの法人と見なすと、君主や議会や裁判所は、法人たる国家の機関となります。美濃部は「上は天皇より下は交番の巡查に至るまで、国家の機関である」と言っています。帝国憲法の第四条「天



講演中の樋口氏

皇ハ統治権ヲ総攬シ…」は天皇主権を意味しますが、美濃部はその意味を、「天皇は法人としての国家の最高機関であるということ」と考えました。これが天皇機関説です。

美濃部は天皇に対する忠誠心を持つ人でしたが、そうした道徳感情を憲法論から切り離し、天皇を論じる法的枠組みを築きました。彼は天皇と帝国議会の関係に注目し、議会政治を天皇機関説によって強化しようとしていました。だからこそ、それを阻止したい上杉と論争になりました。

大正デモクラシーと「憲政の常道」

論争後、学界では天皇機関説が主流になり、大学では同説に基づく憲法論が教えられました。大卒の官僚が天皇機関説で考えるので、政界や宮中にも広まっていきました。

天皇機関説という枠組みに対応する議会政治を論じたのが、仙台一中出身の吉野作造・東大教授（1878～1933）です。

こうして大正から昭和に向けて大正デモクラシーⁱが盛り上がり、1924（大正13）年、護憲三派内閣が成立しました。護憲とは「憲政の常道に従い、内閣は天皇に対してだけでなく、衆議院に対しても責任を持つ」という意味で、「議院内閣制」と同義です。日本国憲法で定められ、今日では当たり前ですが、帝国憲法の条文にはなく、慣行を通じてかち

とられたのです。

以後、「選挙の結果、衆議院の第一党の党首が組閣し、議会の支持を失えば交代する」という慣行が成立し、立憲政友会と立憲民政党の二大政党制の時代を迎えます。この慣行は1932（昭和7）年の五・一五事件まで続きました。

戦後、国民主権を掲げた日本国憲法が施行されますが、最初の政権交代は2009年になってからで、しかも成功ではなかったことを思えば、1924（大正13）～1932（昭和7）年の8年間は、戦前日本の立憲政治の到達点として誇ってよいでしょう。

この時期、美濃部の天皇機関説と吉野の民本主義が広範な支持を得て結実しました。1925年には普通選挙法（男子のみ）が始まりました。婦人参政権が認められるのはフランスでも戦後なので、日本だけが遅れていた訳ではありません。

また、この時期は二大政党以外に、無産政党と呼ばれた政党が複数生まれました。共産党はきびしく弾圧されていましたが、社会大衆党が衆議院で三十数議席を占めた時期もありました。「戦前日本の政治は真っ暗だった」と言うのではなく、むしろ「何故、せっかく動き始めた憲政の常道は廃れ、無産政党も戦争に協力してしまったのか」と問うべき

です。

大正から昭和へ～天皇機関説事件

1935（昭和10）年、「天皇機関説は不敬罪と出版法違反に当たる」として美濃部は告発され、著書は発禁処分となりました。最終的に起訴は免れますが、貴族院議員辞職に追い込まれました。こうして、美濃部の学説も、美濃部と共に大正デモクラシーを指導した京都帝大の佐々木惣一（1878～1965）の学説も、大学で講義できなくなりました。

美濃部は事件前年に東京帝大を定年退職しており、憲法学講座は宮澤俊義が引き継いでいました。宮澤の初年度の憲法学講義を聞いた丸山眞男によれば、宮澤は、第一～第四条の天皇に関する条文に全く触れず、第五条の説明から始めたそうです。宮澤として精一杯の抵抗だったでしょう。

なお、1933（昭和8）年、京都帝国大学で滝川事件が起き、佐々木



懇親会の様子

を始めとする教授たちが抗議して京大を去りました。東北帝国大学では宇野弘蔵、服部英太郎が大学を去らなければなりませんでした。

憲法改正を主導できなかった大学

戦後、憲法改正が問題になると、1945（昭和20）年10月、美濃部達吉は3日連続で朝日新聞紙上に改憲不要論を発表しました。彼の主張は、「戦前日本でも民主主義は天皇機関説や民本主義という形で実現していた。これらが抑圧される前に戻ればいい」という自信の表明でした。

同年11月、佐々木惣一は近衛文麿の依頼を受けて憲法改正案を書き上げます。それは近衛の自決後、棚上げになってしまいましたが、貴族院で堂々と日本国憲法案に反対する演説を行います。美濃部同様、帝国憲法下での立憲政治の歩みに自信があったのです。

今の憲法が占領軍によって押し付けられたなどという議論が言われ続けていますが、そう考えながらそのときに反対しなかった人達を代弁する議論は、そのことだけからしても説得力がないでしょう。

商法学者の松本烝治は、幣原内閣に憲法担当の国务大臣として入閣し、同年10月「憲法問題調査委員会」を発足させました。彼は宮澤俊義、清宮四郎（東北大学）、河村又介（九州大学）などの帝大教授を委員

に任命し、翌年2月、憲法改正案を提出します。しかし、明治憲法を部分的に書き改めただけの不徹底なものだったのでⁱⁱ、以後、新憲法案はGHQの主導下に作成されます。

一方、1946（昭和21）年2月、東京帝国大学では南原繁総長の指示の下、学内に「東大憲法研究委員会」が設置されましたが、憲法改正を主導することはなりませんでした。

1947（昭和22）年5月3日、日本国憲法が施行されます。この日、永井荷風は日記に「米人の作りし憲法、笑止なり」と書きました。荷風は1945（昭和20）年5月、「新聞紙ヒトラー、ムソリニの二凶、戦敗れて死したる由を報ず。平和克復も遠からざるべし」と書いた人です。戦争中、時流に一切迎合しなかったからこそ、新憲法に厳しい論評を下せたのです。

日本国憲法について、東大憲法研究委員会の委員だった民法学者の^{わがつま}我妻栄は、「これを“押し付けられた不本意のもの”と考えた者は一人もいなかった」と書き残しています。

宮澤俊義の弟子で憲法学者の佐藤功（仙台一中出身）は、内閣法制局でGHQ草案に接したときのことを、「基本的人權、法の支配、国民主権という言葉は知っていたが、それらが日本の憲法に書き込まれるようになったことに深い感動を覚えた」と述懐しています。

影響力を発揮した在野の研究会

1945（昭和20）年10月、在野の憲政史家、鈴木安蔵（福島県旧小高町出身）ⁱⁱⁱらは「憲法研究会」を発足させ、同年12月、憲法草案要綱を発表しました。天皇については「国家的儀礼ヲ司ル」と規定し、象徴として天皇制を存続させ、同時に国民主権を定めた草案で、GHQ当局が大きな関心を寄せました。

何故、大学は憲法改正を主導したり、影響力ある新憲法案を提示したりできなかったのでしょうか。恩師の清宮先生に尋ねると、先生は「帝大教授と役人ばかりで、大した議論ができなかった」と率直な言葉を残されています。

おそらくこの時の重い心残りが、後にある行動を取らせたのだと思います。1958年、岸政権が憲法改正を目指して「憲法調査会」を設置した時、岸は東大同期の両秀才と言わ

れていた我妻に会長就任を依頼しますが、我妻も宮澤も断り、清宮も委員になることを断ります。

学界で別格の重みを持つ存在だったこれら三人の学者は「政府に対抗する意図はない」としつつも、大内兵衛、湯川秀樹、矢内原忠雄らと「憲法問題研究会」を発足させて一般への啓蒙活動を始め、世論に大きな影響を及ぼしました。彼らは「今度こそ大学は責務を果たさねばならない」と、義務感に駆られたのに違いありません。

- i 吉野は天皇主権を前提としたので、デモクラシーを「民主主義」と訳さず、「民本主義」と訳した。
- ii 「憲法1~4条の原則的規定には変更を加えない」としながらも「天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス」を「天皇は至尊にして侵すべからず」と変更していた。
- iii 鈴木は戦前、京都帝大生だった頃、治安維持法違反で服役し、出所後は最晩年の吉野作造に明治憲政史について教えを受け、後事を託された。

PROFILE



1934年仙台市生まれ。仙台第一高校、東北大学法学部卒。東北大学教授、東京大学教授、上智大学教授、早稲田大学特任教授、パリ大学客員教授などを歴任。日本を代表する法学者である。専門は憲法学、比較憲法学。日本学士院賞、レジオンドヌール勲章（オフィシエ）を受賞。『近代立憲主義と現代国家』『比較憲法』などの他、一般読書人のための近年の著作として『いま、「憲法」は時代遅れか——〈主権〉と〈人権〉のための弁明（アポロギア）』『五訂憲法入門』『いま、「憲法改正」をどう考えるか——「戦後日本」を「保守」することの意味』『加藤周一と丸山眞男——日本近代の〈知〉と〈個人〉』など。

「第55回 七大学戦開幕！」

7月2日に開会式！

<http://www.7-univ.jp/index.html>

「第55回七大学総合体育大会」は、東京大学を主管校として7月2日（土）に開会式が開催されます。

既に競技を終えている冬季・春季種目の結果と今後の競技日程は以下の通りです。

(2016. 6. 9 現在)

競技名	北海道大学	東北大学	東京大学	名古屋大学	京都大学	大阪大学	九州大学
アイスホッケー	2位	5位	1位	3位	6位	7位	4位
スキー	不参加	1位	2位	3位	5位	6位	4位
航空	7位	5位	1位	2位	3位	4位	6位
暫定総合順位	6位	3位	1位	2位	4位	7位	4位
競技名	競技日程		競技会場				
バスケットボール	男子	6/20(月)～25(土)	Bumb 東京スポーツ文化館 (6/20～24) 第二体育館 (6/25) (駒場)				
	女子						
ラクロス	男子	6/24(金)～26(日)	御殿下グラウンド				
	女子	7/16(土)～18(月)	ホッケー場、ラグビー場 (駒場)				
少林寺拳法	6/26(日)		第二体育館 (駒場)				
硬式テニス	男子	6/30(木)～7/3(日)	大宮けんぼグラウンド (6/30～7/3) 検見川総合運動場 (7/4)				
	女子						
柔道	7/9(土)～10(日)		講道館 (7/9)、日本体育大学柔道場 (7/10)				
ヨット	7/9(土)～10(日)		八景島マリーナ				

競技名		競技日程	競技会場
剣道	男子	7/16(土)～17(日)	第二体育館(駒場)(7/16) 巣鴨高校体育館(7/17)
	女子		
空手道	男子	7/17(日)	御殿下記念館(本郷)
	女子		
競泳	男子	7/23(土)～24(日)	銀河アリーナ
	女子		
陸上競技	男子	7/30(土)～31(日)	大井ふ頭中央海浜公園
	女子		
バドミントン	男子	8/9(火)～14(日)	文京スポーツセンター
	女子		
準硬式野球		8/10(水)～12(金)	神柚木公園野球場
硬式野球		8/11(木)～13(土)	農学部野球場(本郷)
フェンシング		8/12(金)～13(土)	第二体育館(駒場)
バレーボール	男子	8/15(月)～19(金)	日野市市民の森ふれあいホール(8/15～8/17) エスフォタアリーナ八王子(8/17～8/19)
	女子		
ハンドボール		8/17(水)～23(火)	御殿下記念館(本郷)
水球		8/20(土)～21(日)	青木公園水泳場
馬術		8/20(土)～21(日)	三鷹馬場
ゴルフ		8/23(火)～25(木)	東京ゴルフ倶楽部
弓道	男子	8/26(金)～31(水)	育徳堂(本郷)
	女子		
相撲		8/28(日)	川崎市富士見相撲場
ソフトテニス	男子	9/1(木)～5(月)	テニスコート(駒場)
	女子		
アーチェリー		9/3(土)～6(火)	検見川総合運動場(検見川)
卓球	男子	9/3(土)～7(水)	御殿下記念館(本郷)
	女子		
ソフトボール		9/6(火)～7(水)	検見川総合運動場(検見川)
自動車		9/12(月)・14(水)	本庄サーキット(9/12)、丸和オートランド那須(9/14)
体操		9/16(金)～18(日)	彩の国くまがやドーム

告知

◎ひらめき☆ときめきサイエンス～ ようこそ大学の研究室へ～

<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/category/fsc/#tab1>

北海道大学は、小・中・高校生のためのプログラム「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」を開催します。「科研費」(KAKENHI)により行われている最先端の研究成果に、小学校5・6年生、中・高校生の皆さんが、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

参加者が将来に向けて、科学的好奇心を刺激してひらめき、ときめく心の豊かさと知的創造性を育む内容です。生物・農学・自然分野のさまざまなプログラムがあります。

各プログラムの詳細は上記 URL よりご確認ください。事前申込制です。尚、一番早いプログラムの申込締め切りは7月11日(月)です。ご注意ください。

◎北海道大学総合博物館リニューアルオープンについて

http://www.hokudai.ac.jp/news/160518_museum_pr.pdf

北海道大学総合博物館が耐震改修工事を終え、7月26日(火)10:00にリニューアルオープンします。

北海道大学は、学術活動で収集・保存・研究されてきた標本・資料の展示に加え、北海道大学の12学部を紹介する展示、博物館活動のバックヤードをご覧いただくミュージアムラボを新設し、カフェや休憩室、ミュージアムショップ、サイエンスカフェなどを実施する多目的スペースを備えたこれまで以上に市民に親しまれる博物館を目指しています。

◎重要文化財「札幌農学校第2農場」の屋内公開について

http://www.hokudai.ac.jp/news/160425_farm_pr.pdf

札幌農学校第2農場は、クラーク博士の大農経営構想により、一戸の酪農家をイメージした北海道開拓の模範農場として発足しました。明治10年に建設された日本最古の洋式農業建築である模範家畜房(モデルバーン)と穀物庫(コーンバーン)を有し、日本農業近代化のモデルとして畑作・酪農技術向上に寄与した施設は、国の重要文化財、北海道遺産などにも指定されています。

公開施設内には、札幌農学校発足以来収集されてきた数多くの農機具が収蔵されています。明治初期に欧米から輸入された畜力用農業機械や初期の農用原動機とトラクタ、日本全国の鋤など、農業機械技術や北海道開発の過程を語るうえで貴重な資料となっています。

札幌農学校第2農場は、北海道開拓時代、そして札幌農学校の歴史を感じるこのことができます。

日程 公開中～11月3日(木・祝)

屋外公開 8:30～17:00

屋内公開 10:00～16:00

(毎月第4月曜日休館)

報告

◎北海道大学研究シーズ集(ebook)を発行

<http://www.mcip.hokudai.ac.jp/cms/cgi-bin/index.pl>

この度、「北海道大学研究シーズ集 Vol.3」が発行されました。

近年増加する北海道大学での研究内容についての照会ニーズに応え、研究情報を積極的に発信し、新たな外部資金の獲得や共同研究の構築も目的として、2014年3月に研究シーズ集を発行し、

2015年3月には「北海道大学研究シーズ集 Vol. 2」が発行されており、その第3弾です。

◎**先端生命科学研究院附属「次世代ポストゲノム研究センター」を改組し、「次世代物質生命科学研究センター」を発足**

http://www.hokudai.ac.jp/news/160404_sci_pr.pdf

先端生命科学研究院では、国家的研究プロジェクトや産学連携研究を、平成18～27年度まで附属次世代ポストゲノム研究センター中心に実施してきました。

今後の社会変革や第3期中期目標・中期計画期間のもと、先端生命科学研究院では平成28年度より同センターを改組し、附属次世代物質生命科学研究センターを発足します。新しい研究センターは3ユニット（産学連携、国際連携、先端基盤）を設け、企業との大型共同研究の推進、国際共同教育研究拠点（GI-CoRE）の創成、機器共用・高度技術人材育成を機動的に進める体制を開始します。これにより北海道大学内の研究シーズの実用化を加速します。

◎**株式会社ダイセルと共同で“部局設置型”「産業創出講座」を同センターに初めて設置～企業との大型共同研究を推進～**

http://www.hokudai.ac.jp/news/160404_sci_pr.pdf

全学組織である産学・地域協働推進機構には、北海道大学と民間等、外部の機関が共通の課題について共同研究を実施し、社会的に高い付加価値を持つ産業を創出することで、社会イノベーションを推進するための産業創出部門制度が設置されていました（平成28年3月末時点で5部門設置）。

この度の附属次世代物質生命科学研究センターの発足趣旨及び新規体制に鑑み、同センター内に、北海道大学で初めての「部局設置型」産業創出部門として、株式会社ダイセルと連携協力した「脂質機能解明研究部門」が開設されます。全学組織設置型は部局横断的な融合研究開発に適していますが、この度の部局設置型は研究テーマを絞り組織構成をコンパクトにすることで、より柔軟かつ機動的な共同研究開発が可能になるなどの利点が見込まれます。

東 北 大 学

告 知

◎**サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン**

<http://cafe.tohoku.ac.jp/index.html>

場 所 せんだいメディアテーク

時 間 18:00～19:45

※場所と時間は共通

◀サイエンスカフェ▶

7月6日（水）※開催曜日に注意

取説「カガクブッシュ」～正しく知ろう化学物質～

8月26日（金）

みんなが知らない「磁石の秘密」

9月30日（金）

触媒の作り方と使い方～触媒は身の回りでひそかに働いている～

◀リベラルアーツサロン▶

7月15日（金）

動物と倫理学

◎**第86回東北大学金属材料研究所夏期講習会**

<http://www-lab.imr.tohoku.ac.jp/~imr-som/summer-school/index.html>

東北大学金属材料研究所は、産学連携の一環として第86回金研夏期講習会を7月19日（火）～7月20日（水）、片平キャンパスで開催します。

講習会では、「「先進製造業」の確立に向けて：多様な材料科学の起源」をテーマとして、初日は講義で材料に関する最近の研究動向を分かりやすく紹介し、二日目は実際に実験室で実習（選択制）を行います。

実施詳細・申込み方法等は上記 URL をご覧ください。

お問い合わせ 022-215-2181

報 告

◎大学の世界展開力強化事業による ロシアへの学生派遣プログラム 「2016 春 TUCPR」を実施

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2016/04/news20160401-03.html>

東北大学は、平成 26 年度大学の世界展開力強化事業（ロシアとの大学間交流形成支援）が採択されたことを受け、ロシアのモスクワ大学、ノボシビルスク大学及びロシア科学アカデミーシベリア支部、極東連邦大学及びロシア科学アカデミー極東支部との共同教育プログラムを開発・実施することとしています。

昨年度ノボシビルスク大学で実施した、学部 1、2 年生を対象とした異文化体験型学生交流プログラム Tohoku University Cross-Cultural Program with Russia (TUCPR) を、今年度はモスクワ大

学付属アジア・アフリカ諸国大学及びモスクワ大学心理学部の協力の下、平成 28 年 3 月 9 日から 14 日間の日程で実施し、東北大生 14 名が参加しました。

参加学生は、ロシア語、ロシア史、ロシア文化等の講義、伝統的なロシアの行事への参加、美術館や歴史的建造物の見学やフィールドトリップ、モスクワ大学本館内の学生寮での生活などを通じ、ロシアへの理解を深めました。

また、プログラム中は、モスクワ大学の学生が東北大生をサポートするなど行動を共にし、協働でプロジェクトワークを行うなどの共修環境が提供されました。

◎避難所での妊産婦を守る情報共有 マニュアルを公開

<http://www.megabank.tohoku.ac.jp/news/14985>

4 月 14 日の熊本県で発生した地震をうけ、妊産婦を守る情報共有マニュアルを公開しました。

東北大学東北メディカル・メガバンク機構の地域医療支援部門長の菅原準一教授らが、東日本大震災の経験を踏まえ作成したもので、被災地の妊産婦さんに少しでもお役にたてるようにとのことです。

東京大学

告 知

◎高校生のための金曜特別講座

<http://high-school.c.u-tokyo.ac.jp/index.html>

場 所 東京大学教養学部 18 号館ホール
(駒場 I キャンパス)

時 間 17:30～

※場所と時間は共通

7 月 8 日 (金)

建築デザインという学問

7 月 15 日 (金)

きのことカビとバイオマスと
—酵素でバイオマスをとことん利用
する

7 月 22 日 (金)

単細胞生物「粘菌」から学ぶソフトロボットの自律分散制御

◎第7回大気海洋研究所地球表層圏
変動研究センターサイエンスカフェ
「大気汚染が雲と気候を変える」

http://cesd.aori.u-tokyo.ac.jp/info/20160715_7th.html

地球気候にあたる大気汚染の影響を考える講座を開催します。

空にぽっかりと浮かぶ雲は、雨を降らせる以外にも、太陽からの光を遮って地球を冷やすことで気候をコントロールする大事なたらしきをしています。このはたらしきは雲をつくっている水のつぶつぶの大きさや濃度に左右されますが、その成り立ちには雲粒の種となる大気汚染物質が深く関係しています。

人間活動が排出する大気汚染物質は雲のなりたちをどのように変えるのか、それによって地球の気候にどんな影響があるのかを、人工衛星からの観測と数値シミュレーションからわかってきた最新の知見をもとに検討していきます。

日時 7月15日(金) 18:45~20:45

場所 東京大学本郷キャンパス山上会館
地下1階レストラン「御殿」

申し込み 要申込。7月5日(火)まで

参加費 1,000円

◎東大EMP主催講演会「海をわたる
機関車」～近代日本の鉄道発展
とグローバル化～

<http://www.emp.u-tokyo.ac.jp/event/20160724/>

世界的な機関車製造業の動向と、日本鉄道業の発展の歴史を統一的な視点で論じ、グローバル競争の中でしのぎを削る、現在の鉄道車輛・システム輸出の今後のあり方を考えます。

鉄道が急速に発展した明治時代、その牽引役である機関車は、いかにして日本にもたらされたのでしょうか。当時、蒸気機関車は最先端技術の粋を集めた製品であり、後発国・日本では自給が困難でした。そのため、機関車の円滑な輸入は、

鉄道発展の鍵を握っていたと言っても過言ではありません。日本に最初の機関車を輸出したのはイギリスでした。しかし、19-20世紀転換期にアメリカ、ドイツが台頭したことにより、イギリスの独占が崩れ、日本の機関車は多様化します。そして、第1次世界大戦の直前になると、日本の自国技術が確立し、独自設計の国産機関車が誕生します。

この講演では、19世紀後半の第一次グローバル化のもとで出現した機関車市場を前提として、世界的な機関車製造業の動向と、日本鉄道業の発展の歴史を統一的な視点で論じます。

日時 7月24日(日) 14:00~15:30

場所 鉄博ホール(鉄道博物館内)

参加費 無料(ただし、入館料が別途必要)

対象 中学生以上(ただし、参加制限はなし)

定員 100名(要事前申込、先着順)

◎東京大学音楽部管弦楽団第102
定期演奏会

<http://www.ut-orch.com/>

日時 7月30日(土) 19:00開演

会場 東京芸術劇場コンサートホール

チケット <http://www.ut-orch.com/102nd/>
よりお申し込みください。

料金 全席指定(S席:2,000円、A席:1,500円)

◎オープンキャンパス2016

<http://www.u-tokyo.ac.jp/opendays/index.html>

東京大学がどのようなキャンパスをもち、そのなかでどのような教育や研究を行い、社会とどのような接点をもっているかを、高校生などこれから大学に進もうとしている方々に実際に経験していただくことを目的としています。短時間の訪問にもかかわらず、今まで体験したことのない、何か目に見えない独特の雰囲気がある、知的な活動を促す何かがある

ている、というようなことを感じられるのではないのでしょうか。

日時 8月3日(水)・4日(金)

申し込み 要申込。8月2日(火)12:00まで

報告

◎小石川植物園「お花見特別開放2016」

<http://utf.u-tokyo.ac.jp/2016/04/2016-55a5.html>

東京大学基金の春の恒例行事「小石川植物園お花見特別開放」が、4月4日に休園日にもかかわらず特別開放され、開催されました。

朝方からの雨も昼過ぎには上がり、時折暖かい日差しも降り注ぐなか、島根県、高知県、沖縄県といった遠方からのご参加者を含め、600名を超える功労貢献会員、貢献会員、賛助会員やそのご家族やご友人が参加しました。

ご参加者は、ちょうど満開を迎えたソメイヨシノや太白桜など、30種類にも及ぶ桜の花を始め、植物園内の多種多様な植物を十分に楽しんでいました。

◎六大学野球開幕！五神総長が始球式

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics_z0602_00027.html

4月9日に開幕した東京六大学野球春季リーグで、五神総長が東大カラーの青いグローブを身につけ、力強い一球を投じました。

始球式の後、東大硬式野球部は早稲田大学との試合に臨み、序盤は硬さのあった野球部ナインですが、徐々に本来のプレーを取り戻していきました。

終盤まで手に汗握る投手戦となりましたが、わずかに及ばず、惜しくも0対1(9回サヨナラ)で敗れました。10日の試合(対早稲田大学)でも善戦しましたが、勝利をつかみとることはできませんでした。

◎総合研究博物館本郷本館リニューアル・オープン、新常設展示「知の回廊」展

<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/exhibition/2016chinokairou.html>

総合研究博物館は2016年、設立・開館から20年を迎え、本郷本館が5月14日にリニューアル・オープンしました。

リニューアルに伴い、新常設展示「知の回廊」展を開催しています。開館記念講演会の詳細は上記URLをご参照下さい。

◎「東京大学スポーツ先端科学研究拠点」の開設及び日本スポーツ振興センター・日本障がい者スポーツ協会との連携協定の締結について

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/notices/notices_z1301_00008.html

東京大学は5月19日、新しい研究拠点として「東京大学スポーツ先端科学研究拠点」を開設しました。この拠点では、スポーツ・健康科学及び関連分野における東京大学の学術成果を基盤として、超高齢社会における健康づくりや健康寿命の延伸、高齢者や障がい者のQuality of Life向上、バリアフリー化の推進、本学学生やトップアスリートの運動能力向上、競技力強化等の実践的課題に関する分野横断的な研究を推進し、東京大学の学術成果を真に社会に還元することを目指しています。

上記の目的を達成するための社会連携の一環として、東京大学は独立行政法人日本スポーツ振興センター及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会と5月20日に連携協定を締結しました。

「東京大学スポーツ先端科学研究拠点」では、まず直近の課題として、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた選手強化支援を視野に、国立スポーツ科学センターや日本パラリンピッ

ク委員会をはじめとした学外機関とも連携して、先端的科学的研究及び各種サポートを推進していきます。特に社会のバリ

アフリー化という広い見地から、パラリンピアンへの支援に力を注ぐとしています。

名古屋大学

告知

◎野外観察園セミナーハウスサテライト展示『名大の蛾Ⅱ. 春～夏の蛾』

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/special/2016/160425.html>

日時 開催中～7月29日(金)

場所 名古屋大学博物館野外観察セミナーハウス 2F

◎第22回博物館特別展示「モンゴル大百科—Mongolian Natural History—」

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/special/2016/160419.html>

多様な鉱物資源や、世界的に有名な恐竜化石産地など、実は自然科学の宝庫モンゴル。今回の展示は名古屋大学博物館の連携教員がモンゴルで行っている様々な研究成果を紹介するものです。開催期間中には関連特別講演会や馬頭琴コンサートも行います。

日時 開催中～8月27日(土)

10:00～16:00

場所 名古屋大学博物館

入場 無料

報告

◎学部・研究科の設置、改組について

http://www.nagoya-u.ac.jp/info/20160401_a.html

名古屋大学では平成29年4月に学部・研究科の設置、改組を予定しています(文部科学省と協議中)。

①情報学部(仮称)の設置(平成29年4月学生受け入れ開始予定)。情報学部(仮称)では、例えばビッグデータ、人工知能、IoTなどを活用することで人類

の直面する課題を解決し、新しい価値を生み出す情報学の創出を目指す。

②工学部・工学研究科を改組し、工学全般の分野を網羅した学科・専攻構成に再編。

学部では、現在の5科・13コース構成を、履修コースを廃止して7学科に再編。大学院ではこれまでの教育研究の強みを生かし、ミッション再定義を踏まえた分野の見直しにより、専攻の新設と融合を行い、20の専攻・分野構成を17専攻に再編。③文学研究科、国際言語文化研究科、国際開発研究科国際コミュニケーション専攻を統合して、人文学研究科を設置。

横断的連携を通じた総合人文学の実現により、人文学の新生を目指しています。詳細は、上記URLをご覧ください。

◎名古屋大学東山キャンパスに「産総研・名大窒化物半導体先進デバイスオープンイノベーションラボラトリ」(GaN-OIL)を設立

http://www.nagoya-u.ac.jp/info/upload_images/20160412_ganoil.pdf

産業技術総合研究所(以下「産総研」という)が4月1日、「産総研・名大窒化物半導体先進デバイスオープンイノベーションラボラトリ」(GaN-OIL)を、名古屋大学と共同で設立しました。

エネルギー問題解決や高度情報化社会の実現には、半導体機器が省エネルギー性に優れ、高速に動作することが重要であり、従来よりも高性能な半導体の素材として注目されるガリウム(Ga)系の窒化物を使った半導体技術の開発とその発展は、グリーンイノベーションの達成に大きな役割を担うと考えられています。

名古屋大は、平成 26 年にノーベル物理学賞を受賞した天野浩教授を中心に、窒化ガリウム (GaN) に関する革新的な基礎研究を行っており、産総研は結晶装置メーカーや大手家電メーカー、大学などとの共同研究を通じ、デバイスの産業

化につながる多数の研究開発の実績があります。そこで、産総研と名古屋大は幅広い窒化物半導体デバイスの研究開発を連携して行い、実用化と社会実装を推進させていくため、新たな産総研の拠点を名古屋大内に設置します。

京都大学

告知

◎人文研アカデミー・公開合評会 「第一次世界大戦を考える」ナイチンゲールの末裔たち〈看護〉から読みなおす第一次世界大戦

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/department/jinbun/events/2016/160723_1530.html

日時 7月23日(土) 14:00~18:00

場所 京都大学人文科学研究所本館

参加費 無料

申し込み 不要

◎公開講座「平成 28 年度 (第 80 回) 京都大学食と農のマネジメント・セミナー (第 3 クラス食トレサビリティの原理と応用 (ケースメソッド))」

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/department/nougaku/events/2016/160728_1600.html

本講座はトレサビリティの原理を学びます。

食中毒や薬物などによる食品汚染の発生時には、健康被害の抑制のため、迅速な製品回収が求められます。食品トレサビリティの確保はそのための必須条件です。仕組みづくりを習得するための演習も実施されます。

日時 7月28日(木) 9:00~18:00

場所 京都大学農学部総合館

参加費 講習料:15,000円(講義のみ7,000円、演習のみ8,000)

テキスト代 2,500円

申込締切 7月22日(金)

◎平成 28 年度京都大学情報学研究科公開講座「面白くて社会に役立つ数理学」

<http://www.i.kyoto-u.ac.jp/koukaikouza/2016/>

面白くて社会に役立つ数理学講座を開催します。

数学や物理の考え方はそれ自体大変面白いものですが、同時に、この考え方をいろいろなことに応用すれば、社会に役立てることができます。このような話をできるだけやさしく話します。

日時 8月11日(木) 13:00~16:50

場所 総合研究 8 号館 3 階 NS ホール

対象 高校生・中学生・および一般の方

定員 先着 200 名

申し込み 要。定員に達し次第、締め切り

詳細は上記 URL をご参照ください。

報告

◎エリアマネジメントシンポジウム 2016 in 名古屋を開催

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/department/keizai/news/2016/160420_1.html

4月20日、京都大学経営管理研究部・経営管理教育部光亜興産官民協働まちづくり実践講座は、全国エリアマネジメントリレーシンポジウムの第3弾として、名古屋市にて「エリアマネジメント

シンポジウム 2016 in 名古屋—ネットワークのカー—を、エリアマネジメントシンポジウム 2016 in 名古屋実行委員会、全国エリアマネジメントネットワーク設立準備委員会と共同で開催しました。

当日は、エリアマネジメント団体関係者や行政関係者、研究者、市民、学生等約 255 名が参加しました。

◎国際高等教育院「国際人材総合教育棟」オープニングセレモニーを開催しました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events_news/department/kokusai/news/2016/160423_1.html

4月23日、国際高等教育院では、「国際人材総合教育棟」の竣工を記念してオープニングセレモニーを学内外から約

80名が出席し開催しました。

◎京都大学東京オフィス開所式開催 http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/160511_1.html

京都大学東京オフィスが4月に品川から新丸の内ビルディングに移転したことに伴い5月11日、開所式が開催されました。当日の出席者は約140名で、卒業生を中心とした国会議員、企業、官公庁の関係者等が多く参加し、山極壽一総長をはじめ、理事・副学長、監事、部局長等が出席しました。

京都大学では、この移転により首都圏での戦略的な情報発信・情報収集を一層強化していきます。

大阪大学

告知

◎大阪大学交響楽団「第107回演奏会」

<http://handaiphil.s198.xrea.com/concert00.html>

日時 7月17日(日) 14時開演

会場 神戸文化ホール大ホール

指揮 北原幸男

曲目 エロール歌劇『ザンパ』序曲
プロコフィエフ交響曲第1番
二長調『古典交響曲』
シベリウス交響曲第2番二長調

料金 全席自由 1000円

報告

◎箕面キャンパス移転にかかる正式合意書を締結

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2016/04/20160415_01

大阪大学と箕面市は、平成27年6月に大阪大学の教育研究の発展・学習環境

の向上と、箕面市の活気あるまちづくりを実現するため、大阪大学箕面キャンパス(粟生間谷地区)を北大阪急行線延伸に伴い整備される「(仮称)箕面船場駅」駅前(船場東地区)へ移転することについて、覚書を交換しました。

以来、大阪大学と箕面市はキャンパス移転について協議を重ね、本年4月12日、正式合意書を締結しました。

今後、大阪大学と箕面市は、正式合意書に基づき、平成33年春の開校をめざして、船場東地区に校舎及び学生寮を整備します。

◎大阪大学ホームカミングデイを開催 http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2016/05/20160502_01

いちよう祭初日の5月1日、豊中キャンパスで「第11回大阪大学ホームカミングデイ」が開催されました。大阪大学・大阪外国語大学のOB・OGをはじめ

め、在学生、保護者、教職員など大学関係者ら約 500 名が参加し、「大阪大学ファミリー」のつながりを深めました。

上方落語協会所属の林家染雀さん(1992年文学部卒)による落語の楽しみ方の指南のあと、古典落語「延陽伯」が披露され満席の会場が沸き、続くトークセッションでは、中之島キャンパスで青春を過ごした作家・医師の久坂部羊さん(1981年医学部卒)と仲野徹生命機能研究科教授(同)の同級生ならではの秘話を、モデレーター役の高島幸次招へい教授が、笑いたっぷりに聞き出しました。

第2部・懇談会でも多くの参加者が久しぶりの再会を喜び合い、また新たな交流を深めました。

また、本年8月に岡山で、12月に東京で「大阪大学の集い」が開催されます。

◎男女協働推進センター設立記念シンポジウムを開催

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2016/05/0524_01

5月24日、銀杏会館にて大阪大学男女協働推進センター設立記念シンポジウムが開催されました。

招へい教授で元厚生労働事務次官の村木厚子氏による基調講演、大阪大学の女性研究者らによるパネルディスカッション等が行われ、これからの大阪大学が目指す誰もが働きやすく働き甲斐のあるキャンパスの実現に向けて議論を深めました。

会場は市民の方々、教職員などの参加で満席となり、ダイバーシティの取組への注目の高さを伺わせるシンポジウムとなりました。

九州大学

告知

◎九州大学総合研究博物館特別展「によろによろ！ウナギとドジョウ」開催中

<http://www.museum.kyushu-u.ac.jp/event/index.html#nyoro>

日本文化になじみ深いウナギとドジョウをとりあげた展示をしています。

ドジョウといえば、ドジョウ1種しか思い浮かばない方が多いと思います。しかし実は、さまざまなおドジョウがいます。多くは日本だけに生息する日本固有種で、環境の変化により、絶滅の危機にある種も少なくありません。また、ドジョウはおいしい食べ物としても知られていますし、かわいらしく親しみやすい印象があることから、日本の文化にも重要な役割を占めています。私たちが自然のためにできることが見えてくるかもしれません。

期間 開催中～7月15日(金)

時間 10:00～17:00

休館日 土曜・日曜・祝日

◎平成28年度公開講座「現代数学入門」

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/events/view/45>

九州大学大学院数理学研究院では、九州大学マス・フォア・インダストリ研究所と「現代数学入門」講座を開催します。

専門家としての訓練を受けていない方々を対象に、中学校や高等学校で学ぶ初歩的な訓練としての数学ではなく、実際に生きている現代数学の一端を紹介します。膨大で深みのある現代数学の全貌を紹介することはできませんが、その心を理解してもらい、さらに興味を深めていただくことを期待しています。

日時 7月30日(土)・31日(日)

場所 九州大学西新プラザ

参加費 3000円(高校生は1500円)

申し込み 要申込。7月15日まで

詳細は上記URLをご参照ください。

◎大気と海洋の環境学～地球温暖化から越境汚染まで～

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/events/view/49>

大気と海洋は、空気や海水の動き（風や海流）を通して、地球上の熱や物質の分布を決めています。九州大学大学院総合理工学府は、この公開講座で、私たちの生活に忍び寄る「地球温暖化」と「越境汚染」の問題が、大気や海洋の運動とどのように関連しているのかを解説するとともに、それらを広域に観測し、予測するための最先端の研究を紹介します。

日時 8月20日（土）・27日（土）

場所 筑紫キャンパス

総合研究棟3階講義室

申し込み 要申込。7月22日まで

詳細は上記 URL をご参照ください。

◎平成28年度公開講座「伊都学（西区・糸島地域の自然と歴史発掘）」

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/events/view/46>

九州大学が所在する伊都地域には縄文時代の貝塚、前方後円墳などの多くの古墳、奈良時代の官宮製鉄所などの遺跡、大宝元年という年号が書かれた木簡、金象嵌の大刀などを含む貴重な埋蔵文化財が発掘されている。キャンパス近くの今津には、栄西ゆかりの誓願寺や勅願寺である勝福寺なども存在しており、広くアジアに広がる伊都地域の自然と歴史を考えます。

場所 西部地域交流センター（さいとびあ）会議室（九大学研都市駅前）

時間 18:30～20:00

※場所と時間は共通

開催期間 10月12日（水）～12月21日（水）
（期間中に10講座）

参加費 3000円（高校生は1500円）

申し込み 要申込。受付は8月1日～10月1日

詳細は上記 URL をご参照ください。

報告

◎科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1086>

平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術特別賞」、「科学技術賞」および「若手科学者賞」を九州大学教員（元教員含む）11名が受賞しました。

文部科学大臣表彰は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的として行われているものです。

◎福岡演習林で研究紹介およびサクラ見学会を開催

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1088>

4月5日（火）、農学部附属演習林福岡演習林において、演習林研究紹介およびサクラ見学会を開催しました。この催しは、日頃から本学演習林をご支援をいただいている地域の皆様に演習林の活動状況を幅広く知っていただくために毎年開催しているものです。

参加者は、演習林創設百周年を機に植え替えられた若いサクラ並木、早生樹植栽試験地、「かすや資料館」などを視察した後、宿泊棟講義室に展示した福岡演習林、宮崎演習林、北海道演習林における教育研究・地域連携・国際交流活動に関するポスターを題材に、演習林教職員・大学院生と熱心に意見交換されました。

その後の懇親会では林内で採れたシイタケのほか、演習林が所在する福岡、宮崎（椎葉村）、北海道（足寄町）の名産物や料理が並び、参加者は各々、旬の味覚に舌鼓を打ちました。

同窓会案内・開催報告

七大学共通

告知

◎七大学若手会第5回講演会・懇親会のご案内

<http://wakatekai.jp/>

第5回講演会（懇親会）を7月23日（土）に開催します。

今回の講師は元駐中国大使、元伊藤忠商事会長の丹羽宇一郎氏です。

講演会は、非七大学卒の方もご参加いただけます。ぜひお友達とお誘いあわせの上、ご参加ください。

【日時】 7月23日（土）12:40～17:30

【場所】 学士会館 203号室

【費用】 4,000円/人
（非七大学卒 6,000円/人）

【講師】 丹羽宇一郎氏 ※元駐中国大使

【演題】 私の青春時代

【申込】 上記URLより要申込

報告

◎七大学若手会第2回花見大会開催

<http://wakatekai.jp/>

4月2日、江東区の猿江恩賜公園にて七大学若手会第2回花見大会が開催されました。

た。10数名の幹事で構成する幹事団の努力で、目標の50名を大きく超えて、合計68名（男34名、女34名）の史上最高の参加人数となりました。特に、隣の花見グループから飛込料を支払って参加したい方が複数人いる位、魅力的な若手会でした。

幹事団が一月以上前から立ち上げ、当日は「脱出ゲーム」、「究極選択問：あなたはどっち?」、「バイオリン演奏」等、多種多様のコンテンツを用意し、初参加の人でも交流しやすく、話題が生まれやすくなるようにしました。脱出ゲームでは、脱出スピード上位3組に会長より表彰状が授与されました。

最後は錦糸町に移動し、16名の方が参加する2次会で大盛況のうちに終了しました。



北海道大学

告知

◎北海道大学関西同窓会総会 2016

<http://hokudai-kansai.com/index.html>

【日時】 10月22日（土）

【会場】 ホテル日航大阪

報告

◎北海道大学の新たな校友会組織の名称の決定及び公表について

<http://www.todai-alumni.jp/program/2016/01/post-ec7d.html>

北海道大学で募集していた「新たな校友会組織の名称の公募」に、多くの名称案が寄せられ、北海道大学校友会（仮称）設立準備委員会の審査会において、新たな校友会組織の名称が以下のとおり決定しました。

○校友会の名称：「北海道大学校友会エルム」

○英語の名称：Hokkaido University Elm Alumni Association

今後、全ての卒業生、教職員及び在学生の皆様にとって魅力的な校友会ネットワークが構築されていくものと思われま

◎北海道大学校友会エルム設立準備室の開設について

http://www.hokudai.ac.jp/bureau/alumni/pdf/20160422_open_pr.pdf

4月1日に北海道大学総務企画部広報課内に「北海道大学校友会（仮称）設立準備室」が設置され、事務室は、百年記念会館1階の旧レストラン跡の一部を改修して設置されました。

また、名称は、設立準備委員会の審査会におきまして正式名称が「北海道大学校友会エルム」と決定いたしました。

東北大学

告知

◎東北大学 109周年校友会関東交流会
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/kanto109/index.html>

主に関東地区在住の東北大学の卒業生と在校生の保護者の方などを対象として「東北大学 109周年校友会関東交流会」が下記の通り開催されます。ご家族、ご友人参加可能です。

【日時】 7月24日(日)15:00~19:00

【会場】 サビアタワー5階(東京ステーションコンファレンス)

【会費】 6,000円(懇親会)

【申込締切】 7月11日(月)17:00まで

報告

◎【東北大学校友会プレミアム会員】
会費支払方法に「クレジットカード決済」が加わりました

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/topics16.html#160511>

東北大学校友会は、プレミアム会員の会費支払方法として、6月1日よりクレジットカード決済を開始しました。

これまででは会費の支払い時には、郵便振替のみでしたが、今後はクレジットカード決済が可能になることで、手続きにかかる時間が飛躍的に短縮され、プレミアム会員の新規申込や継続(更新)が、より簡単かつスムーズになります。

東京大学

告知

◎関西東大会『夏の講演会』のご案内
<http://blog.kansaitodaikai.main.jp/?cid=18410>

東京大学関西東大会の夏の講演会が下記の通り開催されます。

【日時】 8月28日(日)15:00~19:00

【場所】 ホテルグランヴィア大阪20階「鶴寿(かくじゅ)の間」

【費用】 8,000円(講演会と懇親会費含む)

【申込み】 要申込。8月19日(金)まで

【キャンセル】 8月25日(木)まで

◎2016 年関西東大会ゴルフコンペ 開催

<http://blog.kansaitodaikai.main.jp/?cid=18410>

次回ゴルフコンペが、下記のとおり開催されます。

【日 時】 10月29日(土)

【場 所】 茨木カントリー倶楽部

詳細は上記 URL をご参照ください。

名古屋大学

告 知

◎名大男声東京 OB 会「第 3 回合唱・民族楽器・舞踊によるロシア音楽祭」に参加します

<http://eyyatto2014.web.fc2.com/concert.html>

合計 23 団体と、特別出演に国立モスクワ音楽院室内合唱団を迎えた音楽祭です。

【日 時】 7月23日(土) 12:00 開演

【会 場】 新宿文化センター 大ホール

【入 場】 1,000 円

◎国際開発研究科創設 25 周年記念式典

<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/research/seminar/index.html>

大学院国際開発研究科が今年 25 周年を迎えるにあたり、7月29日(金)に、創設 25 周年記念式典の一環として国際シンポジウムを開催します。著名な修了生らを招へいし、講演やディスカッションを行います。この機会に、国際開発研究科同窓会は国内外で活躍している多くの修了生に呼びかけ、参加を募ります。当日参加できない修了生は、テレビカンファレンス機能を通じて、名古屋大学の海外拠点(タイ、カンボジア、フィリピン)において、傍聴や意見交換が

報 告

◎北海道銀杏会第 11 回総会報告

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org/>

北海道銀杏会の第 11 回総会が 4月16日、約 50 人の会員が参加してホテルオークラ札幌で開かれました。平成 27 年度事業報告・決算、平成 28 年度事業計画・予算を承認。同窓会連合会の岡崎一夫代表幹事が大学の近況や同窓会連合会の取り組みなどを報告しました。

講演会、懇親会でともに、会員同士が交流を深める良い場になりました。

できるようにいたします。シンポジウム後には、修了生、在学生、教員を交えた懇親会により旧交を温めます。詳細につきましては、上記の研究科ホームページをご覧ください。

【日 時】 7月29日(金)13:30~17:30

【場 所】 名古屋大学 野依記念学術交流館

◎平成 28 年度鏡ヶ池会東京支部総会

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

工学部・土木系卒業生の同窓会である鏡ヶ池会の東京支部(会員数 600 名以上)の年間最大行事である支部総会のご案内です。平成 27 年度は 93 名が参加しました。

【日 時】 11月18日(金)18:30~20:30

【場 所】 主婦会館プラザエフ B2F クラテ
<http://www.plaza-f.or.jp>

報 告

◎名古屋大学経済学部ウェルカムパーティが開催されました

<http://www.kitankai.net/modules/pico1/index.php>

4月4日、キタン会が支援している経済学部ウェルカムパーティが、学部 2.3 年生の実行委員会の主催で、ルブラ王山で開催されました。新入生のほぼ全員が参加した

このパーティーは、にぎやかなものになりました。パーティー前日には卒業してから間もない先輩たち5名による、新入生のためのタメになるセミナー「大学生活はこう過ごせ！クラブ、バイトそして勉強！」と題したイベントが行われました。

◎ロン支部長、司法大臣に就任

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/activity/event/meeting/160409/index.html>

全学同窓会ベトナム支部長の Le Thanh

Long氏が、2016年4月9日にベトナムの司法大臣に任命されました。

Le Thanh Long氏は、2003年に法学研究科で博士号を取得されて帰国後、ベトナム司法省で要職を歴任されました。2007年9月の名古屋大学全学同窓会ベトナム支部設立時から支部長を務めています。

名古屋大学同窓生が母国の大臣に就任するのは初めてとのことです。

京都大学

告知

◎「第11回京都大学ホームカミングデー」開催日決定のお知らせ

<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/>

「第11回京都大学ホームカミングデー」は、11月5日(土)に「華」をテーマとして開催されます。当日はテーマに合わせて生け花の実演や、京都老舗による特別弁当の懇親会、清風荘の見学会など華やかなイベントを予定されております。

開催イベントなど詳細情報につきましては、上記URLにて順次ご案内します。

報告

◎京都大学技術士会「技術士を目指そう」第7回説明会が開催されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/

160415_1.htm

工学研究科主催、京都大学技術士会共催で「技術士を目指そう」第7回説明会が、桂キャンパスBクラスター桂ホールにおいて開催され、学部生、大学院生等合わせて13名の参加がありました。

技術士および技術士試験の制度の説明に続き、各分野で活躍する先輩技術士でもある当会幹事4名により、それぞれの体験を交えた技術士資格取得のメリットに関する説明、さらには全体を通じた質疑応答が行われました。

その後、参加者が取得希望部門別に分かれての部門別相談会が実施され、個別のケースに合わせた詳しい相談が実施されました。

京大技術士会では今後も、本学関係者向けの技術士説明会を随時実施していく予定です。

大阪大学

告知

◎大阪大学同窓会連合会事務局移転のお知らせ

https://alumni.jim.osaka-u.ac.jp/alumni/publicfront.php?action=Alumni_Public_AnnounceList#announce301

大阪大学同窓会連合会事務局の移転及び担当組織の変更をお知らせいたします。

平成28年4月1日から

【同窓会連合会事務局所在地】

〒565-0871

吹田市山田丘1-1(大阪大学本部棟内)

【TEL】 06-6105-5981

【FAX】 06-6105-5982

【e-mail】 dousoukai-r@ml.office.osaka-u.ac.jp

【同窓会連合会事務局担当組織】

大阪大学 卒業生室

◎岡山「大阪大学の集い」を初開催

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/event/2016/08/20160820_01

大阪大学・大阪外国語大学の卒業生や現旧教職員など「大阪大学ファミリー」が一堂に集うイベントを8月20日（土）、岡山市で開催されます。大阪、東京以外では初めてです。

「今」、そして「これから」の大阪大学を共有し、全国に広がる阪大ネットワークをさらに力強いものにできればと期待しています。JR岡山駅直結の便利な会場で、中四国エリアはもとより、各地からのご参加をお待ちしています。

※準備の都合上、8月5日（金）までに
お申し込みください

【日 時】 8月20日（土）15：30～
（15：00 受付開始予定）

【会 場】 岡山コンベンションセンター
イベントホール（JR岡山駅直結）

【プログラム】

15：30～16：45 セレモニー・講演会
記念講演『『洪庵のたいまつ』を継ぐ』吉川秀樹理事・副学長

（産学連携、病院運営担当）

16：45～18：30 懇親会

※参加費 3,000円（当日申し受けます。）

※未成年者の飲酒はできません

定員：150名（定員に達し次第受付終了）

*臨時託児室も開設します。ご家族連れ

もお気軽にご参加ください。

【お問い合わせ】 大阪大学卒業生室

【TEL】 06-6879-7196

【e-mail】（お問い合わせ専用）

alumni-info@ml.office.osaka-u.ac.jp

『NU7』No.5「同窓会案内・開催報告」掲載の上記「岡山『大阪大学の集い』を初開催」記事中のお問い合わせ先電話番号について、次の通り誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

正) Tel : 06-6879-7196

誤) Tel : 06-6879-7296

報 告

◎大阪大学上海同窓会・咲耶会上海支部合同同窓会を開催

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2016/04/0421_02

4月6日、上海市内のレストラン「豊収日」で大阪大学上海同窓会・咲耶会上海支部合同同窓会が開催され、同窓生、大阪大学教職員等42名が参加しました。

会では、岡田健一在上海日本国総領事館首席領事、東和男大阪大学上海同窓会前会長、伊藤俊彦咲耶会上海支部会員及び西尾章治郎総長の挨拶等が行われました。

また、大阪大学上海同窓会の設立と発展に長年寄与された功績をたたえ、大阪大学上海同窓会会長の董孝銘氏へ西尾総長から感謝状及び記念品が贈呈されました。

その後、各参加者は歓談しつつ親交を深め、盛会のうちに終了しました。

九州大学

告 知

◎囲碁部 OB 会夏合宿のお知らせ

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/191/association_news/detail/565

【日 程】 8月26日（金）13：30～
8月28日（日）10：00

【場 所】 博多温泉「富士の苑」
福岡市南区三宅3-19-7

【会費】 金～日参加の分
2泊4食付 26,000円程度
土～日参加の分
1泊2食付 15,000円程度

◎九大東京同窓会 Summer Festa 2016

https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/62/association_events/detail/273

東京同窓会恒例の“Summer Festa”の日程が決定しました。

年1回の全学部同窓生が集う夏祭り、女性の艶やかな浴衣姿も大好評で、毎年300名を超える老若男女で賑わいます。

懐かしい仲間・人々との出会いを楽しむのもよし、色んな同窓生に会って人脈を拓げるのもよし、是非夏の予定に入れてはいかかでしょうか。

【日時】 8月27日(土) 17:00～

【場所】 青山ダイヤモンドホール
(地下鉄表参道駅直結)

詳細は7月上旬頃に上記URLに掲載します。

報告

◎九州大学経済学部同窓会平成27年度卒業記念祝賀会

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/4/association_news/detail/577

3月25日、箱崎の福岡リーセントホテルで東京・関西・福岡の各支部役員や名誉教授の参加のもと、経済学部同窓会主催卒業記念祝賀会が開催されました。

第一部では、九大コーラアカデミーによる学生歌、「Gaudeamus」(若き我らの)に始まり、「磯谷研究院長挨拶」、「貫同窓会長挨拶」、若手研究者への研究支援、学業優秀な学生への顕彰として贈られる「南信子教育研究基金」による「南賞授与式」が執り行われました。

第二部の懇親会は、杉東京支部副支部長の乾杯で始まり、名誉教授・現教員・各支

部の紹介、卒業生お楽しみの「ビンゴ大会」、ピバ アラムナイト!2015の「ダンス」、九大コーラアカデミーの「コーラス」で盛り上がり、学生歌「松原に」斉唱、貫会長をはじめ同窓会役員による「博多手一本」で散会しました。

◎九州大学法学部東京同窓会新人歓迎会に合計約30名が参加し成功裏に終了

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/117/association_news/detail/590

4月23日、九大東京オフィス会議室にて新人歓迎会が開催されました。参加者は約30名で、年代差の大きな会でしたが、新入会員10名の内女性の参加者は8名となり、華やいだ懇親会となり、成功裏に終了しました。特に、古川貞二郎顧問(元内閣官房副長官)のお話も印象的で、新卒者の皆様(10名)の颯爽とした発言と姿も頼もしく今後の同窓会に新風を吹き込んでくれる状況でした。又、古川同窓会長からも一度に色々な事は出来ないが、一步一步丁寧に同窓会の輪を広げて行きたいとのご発言がありました。

◎平成28年度能古会東京支部総会・講演会・懇親会

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/189/association_news/detail/597

5月21日、学生会館において「平成28年度能古会東京支部総会・講演会・懇親会」が開催され、昭和28年卒から平成25年卒まで、32名が出席しました。

京都大学酒井治孝教授にヒマラヤの最新の研究成果の講演、ネパールでの教育支援活動について紹介がありました。

近況報告、九州大学学生歌「松原に」の合唱など、短い時間でしたが、昔話だけでなく、現在の状況を報告しあい、楽しいひと時が過ごせた会合でした。

会員通信

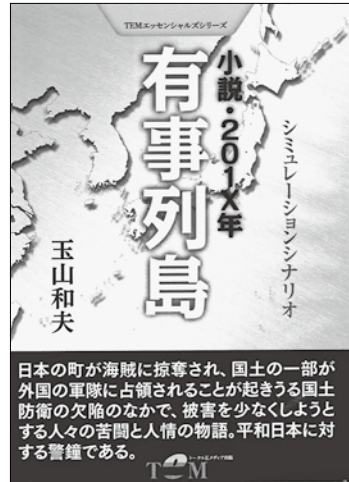
会員著作物紹介

小説・201X年 有事列島（トータルEメディア出版書店）

日本の自衛隊には法的な規制が多く、たとえば外国からの武装集団が離島に侵入し掠奪しても、その武装集団が先に攻撃をしてこない限り、自衛隊は武力を行使できません。本書はこうした問題点、サイバー攻撃、バイオテロ、原子力発電所占拠など、実際に起こりうる事態をドキュメンタリー・タッチで指摘するエンターテインメント小説です。安保法制の理解に役立ちます。

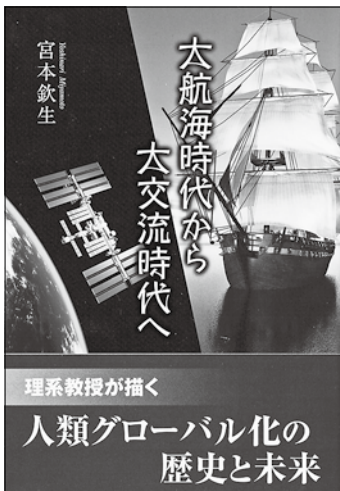
本書の単行本版はアマゾンのみで、電子版は <http://tempubpc.com> で購入できます。

（玉山和夫 会員 北大・工博・工・昭16）



日本の町が海賊に掠奪され、国土の一部が外国の軍隊に占領されることが起きうる国土防衛の欠陥のなかで、被害を少なくしようとする人々の苦闘と人情の物語。平和日本に対する警鐘である。

大航海時代から大交流時代へ（東洋出版）



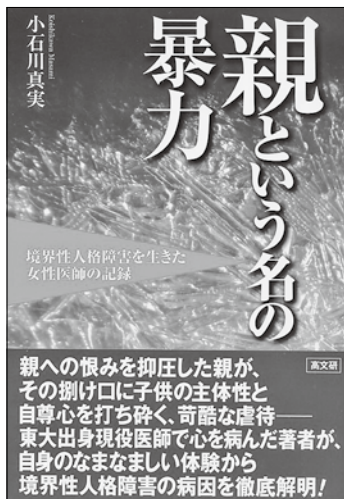
理系教授が描く

人類グローバル化の
歴史と未来

グローバル化を調べていく内に、過去に二度グローバル化があった事が分かりました。最初は約7万年前のアフリカ脱出で人類が陸を伝って世界に拡散し、二度目は海を越えた大航海時代ですが、現在のグローバル化は、空と空間を介して大交流時代を創造しつつあると考えられ、苦難と栄光に満ちたグローバル化の歴史を考察し、未来を描いてみました。

（宮本欽生 会員 阪大・工博・基礎工・昭42）

『親という名の暴力』（高文研）



私は東大医学部出身の内科医だが、両親の絶え間ない精神的暴力が原因で、深刻に精神を病んだ経験を持つ。こんな話は「親は無条件で尊く、感謝すべき存在」という常識に著しく反するに違いない。だが昨今、同様の原因で精神を病む人は非常に多く、私自身、安定して働けるところまで回復するのは至難だった。それでこの種の不幸を社会から一つでも減らしたい悲願から、親の何が子どもを病ませるのか、自身の事例で極力詳細に説いた。

（小石川真実（筆名） 会員 東大・医・昭57）

会員活動報告

サントリーホールでのチェロリサイタル

4月9日サントリーホール・ブルーローズにて、シリーズ公演 Reine pur の第10回「ピアニストのチェロ」を開催いたしました。共演は、私が本拠としておりますウィーンのピアニスト、ペーター・バルツァバ氏。ウィーンゆかりのピアニストたちが生んだチェロ曲を演奏しました。

7月18日（月・祝）には、17時より浜離宮朝日ホールにて、ウィーンで結成しました「東京－ウィーン四重奏団」の初来日公演に出演します。



学会会の方がファンクラブにご入会くださったこともあり、今年は恒例の「ファンの集い」を学生会館で開くことになりました（12月18日11時半より）。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

お申し込み、お問い合わせ：

平野玲音ファンクラブ事務局 080-6552-2949 cello@reine-h.com

（平野玲音 会員 東大・文修・文・平11）

原稿募集のご案内

表紙写真の募集

『NU7』では表紙の写真を会員の皆様から募集しています。写真のテーマは自由です。サイズはA5判（天地210ミリ・左右150ミリ）のカラー写真で、データ容量は2122ピクセル×2977ピクセル以上でお願いいたします。雑誌の判型上、縦組み写真を希望しています。横組み写真の場合、トリミングにて対応させていただくことがあります。トリミング位置等は学士会事務局に一任ください。

写真提供者のクレジットは、目次ページに「氏名・卒業校名・学位・卒年」を記載いたします。

掲載の可否に関するお問い合わせには、お答えできません。

また、掲載させていただく場合、写真の掲載時期は事務局に一任願います。

ご応募を心よりお待ちしております。

同窓会の「開催告知」及び「開催報告」の募集

同窓会の「開催告知」及び「開催報告」の記事を受け付けています。

「開催告知」の場合は、告知される同窓会の参加申込締切日・開催日ともに掲載号の発行日以降であることが条件となります。同窓会名称・開催日・開催場所・連絡先（問い合わせ先）を明記してください。

また、「開催報告」の場合は、開催された会を報告する内容で、文章を300字以内とし、写真を1点までといたします。

いずれも、七大学関係の同窓会であることが条件となりますが、七大学関係であれば、ゼミや同好会、サークル関係でも結構です。

●「会員通信」コーナー投稿原稿の募集

「会員の声」を募集しています。今回のテーマも引き続き、“(日本各地) 私のオススメ”です。「東北、私のオススメ」、「仙台、私のオススメ」といったように、地域・都道府県・都市を問いません(テーマ以外の原稿も受け付けています)。800字(写真掲載希望の場合650字)以内にまとめて、メールでお送りください。

「会員活動報告」として会員同士の交流やイベントの報告をお寄せ下さい。200字程度、写真データ(jpeg等)は2枚まででお願いします(都合により、掲載写真は1枚となる可能性もあります)。

「会員著作物紹介」では、ご自身の著作物をご紹介いただけます。著作名・著作者・紹介文(200字以内)・著作物表紙写真をデータ(jpeg等)でお送りください。※一般販売しているものに限定

「会員ギャラリー」では、写真の他、絵画・生け花・陶器などの作品も写真でご紹介いただけます。

=====

注意事項

- ・11月号掲載分の各種原稿の締め切りは8月31日です。
- ・政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正させていただく場合がありますのでご了承ください。
- ・投稿にあたっては、氏名・会員番号を明記の上、Eメールで下記アドレスまでお送りください。
- ・投稿の受信確認及び掲載可否の連絡はいたしません。
- ・掲載原稿・作品は事務局で選定されたものとなり、選考に関する質問にはお答えできません。
- ・誌面の都合上、掲載できない場合がございます。
- ・作品(データを含む)は原則として返却いたしません。なお、お送りいただきました内容は学士会交流サイト「謝恩の情」(<http://www.gakushikai-salon.jp/>)にも掲載させていただきます。

送付先・お問い合わせ先：nuseven@gakushikai.or.jp

告知

学士会主催



夕食会・午餐会 (2016年
7月～9月)

[場所] 学士会館

[参加費] 4,000円 (講演のみ 2,000円)

◎**夕食会** (18:00～食事 / 18:50～講演 / 19:50～質疑応答)

7月8日(金) 篠田 謙一氏 (独立行政法人国立科学博物館研究調整役 (兼) 人類研究部長)

「古代ゲノムで解明する日本人の成立」

1979年京都大学理学部卒業。佐賀医科大学医学部講師、助教授を経て2003年国立科学博物館人類第一研究室室長。2014年人類研究部長。2015年より現職。

8月休会です。

9月9日(金) 大村 智氏 (北里大学特別榮譽教授)

「微生物創薬と国際貢献」

1958年山梨大学学芸学部卒業。1963年東京理科大学大学院理学研究科修士課程修了。北里大学薬学部教授、社団法人北里研究所理事・所長等を経て、2005年米国ウエスレーヤン大学 M.Tishler 教授。2013年北里大学特別榮譽教授。2015年学校法人女子美術大学名誉理事長。1992年紫綬褒章、2012年文化功労者、2015年文化勲章、ノーベル生理学・医学賞など受賞歴多数。

◎**午餐会** (12:30～食事 / 13:20～講演 / 14:20～質疑応答)

7月20日(水) 熊倉 功夫氏 (MIHO MUSEUM 館長 / 一般社団法人和食文化国民会議会長)

「和食文化を再考する」

1965年東京教育大学文学部卒業。筑波大学教授や国立民族学博物館教授、林原美術館館長、静岡文化芸術大学学長などを歴任。現在に至る。

8月は休会です。

9月20日(火) 板東 久美子氏 (消費者庁長官)

「消費者被害の実態とこれからの消費者教育」

1977年東京大学法学部卒業。文部省に入省。秋田県副知事、内閣府男女共同参画局長、文部科学省生涯学習政策局長、高等教育局長を経て2013年文部科学審議官。2014年より現職。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL : 03-3292-5955 (平日 9:00～17:00) MAIL : koenkai-info@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



「ウェルカム ビアパーティー」 19:30
~21:30

[場 所] 学士会館
[参加費] 4,000 円 (同伴 5,000 円)

2016 年 7 月 29 日 (金) 新卒会員、無料招待!

新卒会員を招待して開催する「ウェルカム ビアパーティー」は、45 歳以下の若手会員限定イベントです。

学士会館自慢の料理とお酒とともに、楽しい一時をお過ごしください。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL : 03-3292-5955 (平日 9:00 ~ 17:00)

MAIL : jigyou@gakushikai.or.jp



昨年の様子

告知 学士会主催



土曜カフェ 15:00 ~

[場 所] 学士会館
[参加費] 1,000 円

7 月 30 日 (土) / 8 月 27 日 (土) / 9 月 24 日 (土)

毎月最終土曜日に 39 才までの会員を対象に、少人数での“カタリバ”土曜カフェを開催中です。読書会も行っています。※日程は、変更になる場合がございます。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

話し合いのテーマも大募集中!

TEL : 03-3292-5955 (平日 9:00 ~ 17:00)

MAIL : jigyou@gakushikai.or.jp



告知 学士会主催



第 10 回女性会 10:00 ~ 14:00 (予定)

[場 所] 学士会館・会館周辺
[参加費] 4,500 円

2016 年 9 月 24 日 (土)

「カメラをもっと楽しもう! ~ スマホで気軽に写真教室 ~ (仮)」

スマートフォンで撮る写真教室です (デジタルカメラも可)。

学士会館周辺の観光名所を講師と一緒に巡りながら、人物・風景・建物を、より素敵に撮るためのコツを学びます。ランチの時間では、料理を楽しみながら、料理写真のコツも習います。※内容は変更になる場合がございます。

お申し込み・詳細は、広報室まで。

TEL : 03-3292-5955 (平日 9:00 ~ 17:00) MAIL : koho@gakushikai.or.jp

※女性会の開催は、女性会員の方にメールにてご案内しております。ぜひ、メールアドレスをご登録ください。



学生会・学生会館主催

「女性のための

愛されコミュニケーション講座」

14:00～15:30 [場 所] 学生会館

2016年8月6日(土)

[講師] 安東 徳子氏(マリッジ・ライフ・プランナー

／株式会社エスプレシーボ・コム代表取締役)

結婚を希望されている女性の方を対象に、話し方やメイクなど、相手に好印象を与えるコツを学びます。



学生会・学生会館主催

「こう話せばうまくいく!

公私に役立つ女性との対話講座」

13:30～15:30 [場 所] 学生会館

2016年8月7日(日)

[講師] 安東 徳子氏(マリッジ・ライフ・プランナー

／株式会社エスプレシーボ・コム代表取締役)

男性の方を対象に、ビジネスから私生活まで、女性と円滑なコミュニケーションを築くコツを学びます。



学生会・学生会館主催

「親と子が共に参加する良縁講座」

14:00～17:00 [場 所] 学生会館

2016年8月28日(日)

結婚を希望されているお子様と、その親御様を対象にした新たな良縁企画です。お子様と親御様が同席し、参加者同士で交流を図ります。

上記3講座の詳細は、学生会公式サイトまたは事業課まで。

TEL : 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL : jigyou@gakushikai.or.jp



学生会主催

「聞香体験」開催報告

[場 所] 香老舗 薫玉堂

(京都市下京区堀川通西本願寺前)

2016年3月12日(土) 14:00～15:30

関西地区在住の女性会員を対象として、香の歴史や聞香の作法についての座学と、組香「三種香」を体験する「聞香体験」を開催しました。香炉の持ち方や、香の聞き方(香のかぎ方)など、全てが日常とはかけ離れた貴重な体験となりました。



お部屋の様子



学士会主催

第8回女性会開催報告

[場 所] 学士会館

2016年4月9日(土) 10:00～12:30(ランチ希望制 ～14:30)

「心も体も変化する、美しいエクササイズウォーキング講座」

姿勢と歩き方から、女性の美と健康にアプローチする「ポスチュアウォーキング」を学びました。講師自らの経験に基づく方法は説得力があり、講座前後で、姿勢の変化が目に見えてわかる実践的な講座でした。

講師の KIMIKO 氏
(写真・右)



学士会・学士会館共催

「親から始める子どものための良縁講座」

第3弾開催報告

[場 所]
学士会館

2016年4月16日(土) 14:00～17:00

第3回目となる今回は、事前に配布したプロフィールをもとに、各自希望するお相手と交流を図る形式で開催しました。

いずれの親御様も、お子様の幸せを願い、熱心かつ真剣に会話しているのが印象的でした。



学士会主催

第24回関西茶話会開催報告

[場 所] 中央電気倶楽部

2015年4月16日(土) 北川 央氏 (大阪城天守閣館長)

『真田幸村と大坂の陣』— 智将幸村の生き方・戦い方 —

本年のNHK大河ドラマで大注目の真田幸村(信繁)についての講演ということもあり、多くの会員の方に参加いただきました。

講演録は、11月1日発行の『NU7』No.8に掲載予定です。



大阪大学ホームカミングデイ に出店しました

[場 所] 大阪大学豊中キャンパス
大阪大学会館

2015年5月1日(日)

第11回大阪大学ホームカミングデイ「落語」と「笑いのトークセッション」にご来場の皆様には、『NU7』の配布と共に学士会の紹介を行いました。



学士会主催

「京都大学 清風荘見学会」開催報告

[場 所] 京都大学清風荘

2016年5月21日(土) 13:30～15:30

昨年11月に引き続き、関西地域在住の会員限定で、京都大学所有の清風荘見学会を開催しました。

紅葉シーズンとはまた違った、新緑の庭園の美しさに、参加者からは感嘆の溜め息がもれました。



「平成28年熊本地震」支援金募集のお知らせ

熊本地震により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

一般社団法人学士会は、国立七大学の総合同窓会として、会員の親睦活動に加えて七大学への貢献活動を行っておりますが、この度、九州大学へ、学生本人又は保護者が被災し生活が困難となった学生に対する修学支援、学生が被災地においてボランティア活動を行う際に要する経費の支援、その他緊急時における学生の経済的支援をしたいと思います。今回学士会がお預かりする支援金は、全額九州大学へ寄付いたします。

ご送金は指定の銀行口座にお振込み頂くか、現金書留にてご郵送ください。

①銀行口座振込

三菱東京 UFJ 銀行 神保町支店 (普) 0932733 シヤ) ガクシカイ

お振込みの際、会員の方はお名前の上に、**卒年 (西暦)・学部**を、一般の方は**お名前**をご入力ください。

入力例 (法学部 平成元年卒 学士太郎の場合 → ガクシタロウ 1989 ホウ)

②現金書留

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28 (一社) 学士会 会計課

現金書留に上記宛先をご記入の上、会員の方は**お名前 (ふりがな)・卒年 (西暦)・学部**を、一般の方は、**お名前 (ふりがな)**をご記入ください。

※採納証明書・領収書・預かり証等の発行はしていません。なお、九州大学へ直接ご寄付されると税制優遇措置(寄付金控除)をうけるために必要な受領証が発行されます。詳しくは、九州大学 Web サイトをご覧ください。

※現金書留の送料は、各自ご負担ください。

詳細は、学士会公式サイトまたは『學士會会報』(7月発行号)をご覧ください。

告知 学士会館開館 88 周年記念



「学士会館ビアホール」スタート！

2016年7月4日(月)～8月31日(水) 17:30～22:00

※8月13日～16日・土日祝除く



学士会館・夏の風物詩、「学士会館ビアホール」が始まります。
ジュージュー焼き立てステーキと、キンキンに冷えたプレミアムビールで、皆様をお待ちしております。

※写真はイメージです。

詳細は、学士会館公式サイトまたは担当まで。

TEL: 03-3292-5936

URL: <http://www.gakushikaikan.co.jp/>



告知 学士会館主催



「プレミアムビールと中国料理のUTAGE(仮)」

[場 所] 中国料理「紅樓夢」

[参加費] 15,000円(一般 18,000円)

2016年8月24日(水) 18:00～(受付 17:30)

各ビール会社の「プレミアムビール」と紅樓夢「フカヒレの姿煮」夢の競演!夏の夜の“宴”をお楽しみください。
7月4日(月) 15時より申込受付を開始します。



※写真はイメージです。

詳細は、学士会館公式サイトまたは紅樓夢まで。

TEL: 03-3292-0880 URL: <http://www.gakushikaikan.co.jp/>



フランス料理界の至宝・テットドワ氏が再来日!

MOF(フランス国家最優秀職人章)の称号と持つフランス人シェフ、クリスチャン・テットドワ氏が今年も来日、昨年の大人気企画が今年も復活です。

8月1日(月) 10時より申込受付を開始します。



2016年9月17日(土) ランチ 12:00～ / 8,000円
ディナー 18:00～ / 15,000円

「テットドワ氏のランチ&ディナー(仮) レストラン「ラタン」

詳細は、学士会館公式サイトまたはラタンまで。

TEL: 03-3292-0881

URL: <http://www.gakushikaikan.co.jp/>

2016年9月18日(日) 18:00～(受付 17:30) / 20,000円(一般 24,000円)

「極める フランス料理・伝統のエスプリ(仮)」学士会館210号室

※写真はイメージです。

詳細は、学士会館公式サイトまたは担当まで。

TEL: 03-3292-5934(専用窓口)

URL: <http://www.gakushikaikan.co.jp/>





七大学書籍ランキング BEST 5

期間：2016年5月1日～2016年5月31日

北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 帰ってきたヒトラー 上	ティムール・ヴェルメシュ	河出書房新社
	2 帰ってきたヒトラー 下	ティムール・ヴェルメシュ	河出書房新社
	3 何者	朝井リョウ	新潮社
	4 興亡の世界史オスマン帝国 500年の平和	林佳世子	講談社
	5 憲法の無意識	柄谷行人	岩波書店
一般書	1 大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる	井堀利宏	KADOKAWA
	2 羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋
	3 日本会議とは何か	上杉聡	合同出版
	4 正しい戦争はあるのか？	眞嶋俊造	大隅書店
	5 憲法カフェへようこそ	あすわか(明日の自由を守る若手弁護士会)(編)	かもがわ出版

東北大学生協 書籍部 文系店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 世界から猫が消えたなら	川村元気	小学館
	2 「憲法改正」の真実	樋口陽一、小林節	集英社
	3 研究不正	黒木登志夫	中央公論新社
	4 憲法の無意識	柄谷行人	岩波書店
	5 地域再生の失敗学	飯田泰之 他	光文社
一般書	1 人工知能は人間を超えるか	松尾豊	KADOKAWA
	2 大災害からの再生と協同	佐藤大介	本の森
	3 羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋
	4 日本はなぜ「戦争ができる国」になったのか	矢部宏治	集英社
	5 日本語を作った男	山口詔司	集英社

東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 研究者としてうまくやっていくには	長谷川修司	講談社
	2 脳・心・人工知能	甘利俊一	講談社
	3 「文系学部廃止」の衝撃	吉見俊哉	集英社
	4 研究不正	黒木登志夫	中央公論新社
	5 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
一般書	1 公務員試験速攻の時事 平成28年度試験完全対応	資格試験研究会(編)	実務教育出版
	2 TOEFL テスト英単語 3800 4訂版	神部孝	旺文社
	3 東大生が書いた問題を解く力を鍛えるケース問題ノート	東大ケーススタディ研究会	東洋経済新報社
	4 大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる	井堀利宏	KADOKAWA
	5 英文校正会社が教える英語論文のミス100	エディテージ	ジャパンタイムズ

名古屋大学生協 書籍部 BOOKS フロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 南海トラフ地震	山岡耕春	岩波書店
	2 χ の悲劇	森博嗣	講談社
	3 脳・心・人工知能	甘利俊一	講談社
	4 人類最強の純愛	西尾維新	講談社
	5 ぼくは明日、昨日のきみとデートする	七月隆文	宝島社
一般書	1 TOEIC テスト公式問題集	Educational Testing	国際ビジネスコミュニケーション協会
	2 スバラシク実力がつくと評判の線形代数キャンパス・ゼミ	馬場敬之	マセマ
	3 線形代数の世界	斎藤毅	東京大学出版会
	4 機械学習と深層学習	小高知宏	オーム社
	5 学振申請書の書き方とコツ	大上雅史	講談社

京都大学生協 BOOK センタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 日本会議の研究	菅野完	扶桑社
	2 京大式おもしろ勉強法	山極寿一	朝日新聞出版
	3 京都ざらい	井上章一	朝日新聞出版
	4 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	5 細胞の中の分子生物学	森和俊	講談社
一般書	1 TOEIC テスト公式問題集	Educational Testing	国際ビジネスコミュニケーション協会
	2 現役東大生が書いた地頭を鍛えるフェルミ推定ノート	東大ケーススタディ研究会	東洋経済新報社
	3 基礎と応用ベクトル解析	清水勇二	サイエンス社
	4 東大生が書いた問題を解く力を鍛えるケース問題ノート	東大ケーススタディ研究会	東洋経済新報社
	5 ハーバードの人生が変わる東洋哲学	マイケル・ビュエット、クリスティーン・グロス・ロー	早川書房

大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 世界から猫が消えたなら	川村元気	小学館
	2 新版大学生のためのレポート・論文術	小笠原喜康	講談社
	3 空飛ぶ広報室	有川浩	幻冬舎
	4 夢幻花	東野圭吾	PHP 研究所
	5 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
一般書	1 嫌われる勇氣	岸見一郎、古賀史健	ダイヤモンド社
	2 ぼくらがクラウドファンディングを使う理由	山本純子、佐々木周作	学芸出版社
	3 夢をかなえるゾウ 2	水野敬也	飛鳥新社
	4 カエルの楽園	百田尚樹	新潮社
	5 羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋

九州大学生協 文系購買書店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 研究不正	黒木登志夫	中央公論新社
	2 憲法の無意識	柄谷行人	岩波書店
	3 科学という考え方	酒井邦嘉	中央公論新社
	4 使える地政学	佐藤優	朝日新聞出版
	5 自己言及性について	ニクラス・ルーマン	筑摩書房
一般書	1 憲法の地図	大島義則	法律文化社
	2 スターバックスでラテを飲みながら憲法を考える	松井茂記 (編)	有斐閣
	3 法律学小辞典 第5版	高橋和之 他 (編)	有斐閣
	4 ここから始める言語学プラス統計分析	小泉政利 (編著)	共立出版
	5 暴力の経験史	今井宏昌	法律文化社

フランス・ドゥ・ヴァールというオランダの動物学者が「サルは公平さの概念をもっている」と発表したとき、ある哲学者は「あり得ない！公平さはフランス革命のとき生まれた概念だ」とコメントしたそうだ。この話を聞いて以来、動物園に行くとき霊長類を注意して見るようになった。初夏の汗ばむ午後、サル山では、柵のすぐそばにある台の上で、2匹が毛繕いしていた。ちょうど人間の目の高さに台があるので、動物園が来園者に見せるために設置しているのかもしれない。2匹とも人間のほうは一切見ない。1匹が横を向いてゆっくりと毛繕いをしている。相手とは見ると、四肢をだらりと伸ばしこちらに腹を見せて目をつぶって寝そべっている。あまりのリラックスぶりに笑ってしまう。公平さの概念はもっているのかもしれないが、人目（猿目？）を気にするという性質はないようだ。休日で天気に恵まれたら動物園に行ってみるのも悪くない。

（編集委員：佐藤千恵子）

『NU7』は学士会のニュース誌である。名称は「学士」会だが、学士、修士、博士、教職員の七大学に関係する全てが対象である。学士という称号は当初は帝国大学の卒業者のみに与えられた。国家発展のために人材育成するという、明治政府の必至の気構えが感じられる。最近、といっても2014年だが「SGU スーパーグローバル大学」支援事業が立ち上げられていわゆる最強大学ランキングが公表された。SGUとは「教育と研究と社会貢献の全ての面に国際性があり世界の頭脳が集まる大学」というのが定義のようである。国が世界に通じる大学を選別するとあってその当落が注目を浴びた。採択された37校に様々な課題が投げかけられた。日本は18歳人口が減少し始め「2018年問題」に間もなく突入する。同時にグローバル化が進み経済、ビジネスの国際競争が激化している。そんな状況下において平成の国家政府の必死の気構えとうかがわれた。

（編集委員：田村恵美子）

先日はGoogle I/Oと言うイベントがGoogle本社近くで行われ、例年参加しているため今年も参加してきた。米国では既に検索全体の20%が音声による検索になっているそうだ。

普通の言葉で機械に依頼をすると何でも答えてくれるといった未来がもうすぐそこまで来ていると感じた。「ジョージの部屋の電気を付けて！」とか、「ムードのある曲を流して」といった要望に答えてくれるGoogle Homeという製品が近日リリースされるらしい。自動運転カーなど家族や友人とのあり方なども変えて行く可能性を秘めていると感じる。学士会も新たな価値を提供していきたい。

（編集委員：吉積礼敏）

NU7 第6号

2016年 7月1日 発行

編集兼
発行人

富 浦 梓

発行元

一般社団法人学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28

TEL：03-3292-5930

FAX：03-3292-2779

homepage：http://www.gakushikai.or.jp

e-mail：nuseven@gakushikai.or.jp

印刷所

大日本法令印刷

学士会 創立130周年の歩み

1886(明治19)年7月に正式に発足した学士会。130年の主な歩みを時代のテーマに沿って、ご紹介します。学士会の歴史は、学士会公式サイトでご覧いただけます。

明治 現在に繋がる活動

加藤弘之先生(東京大学初代総理)謝恩会(「謝恩の情」)開催(明治19年4月18日)
「学士会」創立(明治19年7月)
「会員宿所録」を掲載した『学士会月報』創刊(明治20年2月)
会員宿所録は、現在の「会員氏名録」。『学士会月報』は現在の『學士會會報』
帝国大学運動会に賞品を寄付(明治22年10月26日)
現在の全国七大学総合体育大会への特別協賛
第1回「年賀会」開催(明治33年1月。明治39年に「新年祝賀会」と改称)
現在の「新年祝賀会」
各同好会が発足(明治36年玉突会、明治38年囲碁会)
現在の撞球会・囲碁会

大正 組織作り

学士会地方支部(京都・仙台・福岡・北海道等)設立(大正5年~大正9年)
学士会初代理事長に、阪谷芳郎氏が就任(大正8年10月3日)
「社団法人 学士会定款」決定(大正11年4月15日)
「社団法人 学士会」設立(大正11年5月15日)

昭和 活動を守る

学士会館完成(昭和3年5月20日に旧館、昭和12年9月20日に新館が開館)
神田一帯の空襲により、学士会館空襲被害(昭和20年2月25日)
宿泊会員などの協力で被害を最小限に食い止める
学士会館、GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)により接収(昭和20年9月17日)
学士会の主要な職員を進駐軍要員として勤務させ、建物及び備品の保全をする
昭和25年頃より、戦争中に紛失した会員原簿を官公庁等に照会・調査を開始する
「会員氏名録」復刊(昭和26年8月 ※昭和18年休刊)
学士会分館が東京大学赤門横に完成(昭和26年12月3日開館。平成21年3月閉館)
会館の経営をしていた森田純次氏により、株式会社学士会館精養軒が設立される
『学士会月報』復刊(昭和30年4月 ※昭和19年休刊)
学士会館等接収建物の返還式(明治生命ビル屋上)挙行政(昭和31年7月18日)
「学士会創立百周年記念式・祝賀晩餐会」開催(昭和61年7月10日)

平成 新たな挑戦

学士会公式サイト開設(平成13年)
学士会館リニューアル(レストラン・教会式式場改装等)(平成14年)
学士会メールマガジン開始(平成15年1月)
若手会員向けイベント始動(平成20年~)
「一般社団法人 学士会」へ移行(平成25年4月1日)
女性会員向けイベント始動(平成26年7月~)
『NU7』創刊(平成27年9月)

2036年に学士会は創立150周年。学士会は、これからも歩み続けます

学士会の活動・サービス一覧

七大学への支援・連携

- ・「全国七大学総合体育大会（七大戰）」への特別協賛（協賛金、優勝トロフィー）
- ・七大学との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・七大学との共催イベント ・ホームカミングデーへ参加 ・七大学支部連絡室の提供

七大学関連団体との連携

- ・七大学の同窓会との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・お互いの主催イベントへの相互協力
- ・七大学OB合同イベントへの協力（「七大学OB野球大会」への支援など）
- ・学生会館における全学同窓会会合の支援や、若手同窓団体講演会への共催や支援

会員活動に対する支援

- ・同好会活動への支援（撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語）
- ・学生会館の会員倶楽部室（撞球、囲碁、将棋、会員会議室）の利用
- ・学生会館の談話室、読書室の利用（いずれも Wi-Fi 利用可）

会員向け活動・サービス

- ・『學士會会報』『会員氏名録』『NU7』の発行
- ・「夕食会」「午餐会」「若手交流会」「関西茶話会」「新春講演会」「地域講演会」などの講演会開催、「新年祝賀会」「クリスマス家族会」などのイベント開催
- ・メールマガジンの配信（登録者向けに毎月1日発行 / 読者プレゼントあり）
- ・学生会館会員専用サイト「交流サロン・謝恩の情」の利用（NU7+・同好会だよりの閲覧）
- ・鑑賞ツアー（観劇、コンサートなどの割引チケット提供およびプログラム提供などの特典）
- ・引っ越しや葬祭時の割引特典（クロネコヤマト・アート引越センター / セレモア）
- ・スポーツクラブの割引利用（ルネサンス・ドゥミルネサンス）
- ・住宅に関する総合案内「住まいサポート」（パナホーム・住友林業）
- ・（終身会員のみ）夕食会・午餐会参加時のソフトドリンク1杯無料サービス
- ・事典・辞書のデータベース「ジャパンナレッジ」の割引利用
- ・東京国立近代美術館の割引利用
- ・「しがくのやど」（日本私立学校振興・共催事業団運営の会館・宿泊施設）の割引利用
- ・生涯メールアドレスの提供（希望者のみ）
- ・会員作品（書籍・絵画等）の展示（学生会館）

学生会館事業

- ・婚礼プラン利用の際、お祝い金（5万円）贈呈
- ・宿泊および集宴会を会員価格にて利用（終身会員は会員価格から10%割引）
- ・慶祝プラン（金の食器使用）利用の会員グループに食事券（5,000円）贈呈
- ・レストランでのディナー飲食料、同伴者を含め10名迄10%割引（終身会員本人はランチも10%割引）
- ・レストランの個室料無料

心に刻まれる優美な祝宴

学士会館は1928(昭和3)年に開業、おかげさまで88周年を迎えました。当時の趣を今も色濃く残す温かみのある空間は、風格に満ち、おふたりはもちろん、お招きしたゲストの方々にも特別な思い出として心に深く刻み込まれることでしょう。

おふたりの絆を結び、ご家族の想いを繋ぐ学士会館の結婚式。木の温もりとステンドグラスからの光に包まれたチャペルは、柔らかく荘厳な雰囲気です。

おふたりのためだけに創りあげる最高のオリジナルウエディングをご提案します。

学士会館

BANQUET



披露宴をはじめ、6名様からの小宴会、200～300名様規模の講演会、レセプションなどにご利用いただける様々な会場を備えています。

HOTEL



都心にありながら喧騒とは無縁の時間が流れるクラシックな空間で、ごゆっくりお寛ぎください。

WEDDING



おふたりの絆を結び、ご家族の想いを繋ぐ学士会館の結婚式。神殿は夫婦和合の神様、神田明神の神霊をお祀りしています。

RESTAURANT



館内には、寿司割烹、フランス料理、中国料理、カフェ&パブのレストランがあり、落ち着いた個室も完備しています。

88th Anniversary プラン



88special Wedding Plan

ETERNAL

エターナル



おふたりの門出を祝福する、お得な特別プランをご用意いたしました。

40名様からの
ご婚礼プラン

40名様 88万円(税込)～

お一人様増 22,000円(税込)より

申込期間 平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)まで

特典 生演奏プレゼント

新郎 新婦衣装レンタル お得な衣装バックをご用意しております。

※詳細はお問い合わせください。

学会の紹介

学会は、国立七大学（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約5万人からなる総合同窓団体です。

学会の発端は、明治19（1886）年に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会。今年、130周年を迎えた学会は現在、七大戦特別協賛をはじめとした七大学への支援や、七大学同窓団体との連携、会員向けに様々なサービスを展開しています。



会員資格

- 七大学の卒業生（学士・修士・博士）
- 七大学の教職員（教授・准教授・助教など）
- 七大学の学生

※詳細は、学会公式サイト「情報公開」の定款をご覧ください。
※学生は、学生会員への登録になります。登録料は無料です。

会費

入会金なし、年会費4,000円

※学部卒業後2年間は3,000円（学会事業年度は4月1日～翌3月31日）。
※会費一括納入の終身会員制度もございます。お問い合わせください。

平成28年3月にご卒業・ご修了された
大学・大学院生をぜひご紹介ください。

主な会員サービス

最新情報をお届けする学会メールマガジンは、どなたでもご覧いただけます。
公式サイトよりご登録ください。



『学会会報』の発行

明治20（1887）年より今まで続いている『学会会報』は、年6回奇数月に発行、ご指定の住所にお届けしています。

最新号・バックナンバーの目次を、公式サイトに掲載中です！



講演会やイベントの開催

「夕食会」「午餐会」「関西茶話会」「地域講演会」「若手交流会」「女性会」など地域・年齢を考慮した講演会・イベントを開催しています。

2015年ノーベル生理学医学賞受賞者・大村智氏が、9月夕食会にご登壇！！



平成28年9月夕食会講師
大村 智氏



企業と連携したサービス

オペラや観劇などのチケット割引サービス「鑑賞ツアー」（オプション付き）や、スポーツクラブなどの割引サービス等を行っています。

「しがくのやど」（宿泊・保養所）の割引利用や、インターネット辞書検索サイト「ジャパナレッジ」の割引利用も大人気です！



「学会館」の運営



集宴会や婚礼、宿泊には会員優待のある「学会館」（東京都千代田区）をご利用ください。

※写真はイメージです。

7月4日スタートの「88周年記念イベント 学会館ビアホール」、今年の目玉は「ステーキ」です！

入会をご希望の方は、学会公式サイトからお手続きください。

<http://www.gakushikai.or.jp/>

一般社団法人 学会



入会に関するお問い合わせは学会総務企画課まで / 03-3292-5933（平日9時～17時）